

完成版
H30.12.17

新潟市教育ビジョン第3期実施計画
～NEXT&NEW～

平成30年度 施策中間評価



平成30年11月6日

新潟市教育ビジョン推進委員会

新潟市教育ビジョン平成30年度施策実施状況最終報告 施策一覧

基本施策(13施策)	施策 (54施策) 網掛…【NEXT】&【NEW】に該当する施策		3期進捗 平均評価	担 当 課 (◎とりまとめ課, ○関係課, ※情報提供課)										☆…説明に 取り上げる 施策 (20施策)	資料 頁			
				総務	学務	施設	保給	地教推	学人事	教育職	支援	図書	生セ			中公	総セ	
1 確かな学力の向上	1-1	社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進	【NEXT】									◎				☆	1	
	1-2	学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進		4.0								◎					3	
	1-3	基礎・基本を身に付ける教育の推進	【NEXT】	4.3				○				◎					5	
	1-4	アグリ・スタディ・プログラムの推進	【NEXT】									◎					7	
	1-5	学習習慣の定着										◎					9	
	1-6	読書活動の推進と新聞活用の充実	【NEXT】							○		○	◎				11	
2 豊かな心と健やかな 身体の育成	2-1	いのちの教育・心の教育の推進										◎			○		13	
	2-2	一人一人の成長を促す生徒指導の推進	【NEXT】									◎				☆	15	
	2-3	体験活動・ボランティア活動の充実										○			◎		17	
	2-4	文化・芸術活動体験の推進										◎			○		19	
	2-5	体力づくりの推進										◎					21	
	2-6	健康づくりの推進										◎					23	
	2-7	食育の推進										◎			○		25	
	2-8	青少年の健全育成の推進										◎			○		27	
3 創造性に富み、世界 と共に生きる力の育成	3-1	地域学習の充実													◎		29	
	3-2	外国語教育・国際理解教育の充実	【NEW】									◎				☆	31	
	3-3	情報教育の充実とICTを活用した教育の取組	【NEW】									◎				☆	33	
	3-4	主体的な取組を促す環境教育の推進										○			○		35	
	3-5	海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進	【NEW】									◎				☆	37	
4 共生社会の実現を 目指すインクルーシブ 教育システムの推進	4-1	子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進	【NEW】									◎				☆	39	
	4-2	特別支援教育のサポート体制の推進										◎					41	
	4-3	早期からの就学相談・支援の充実	【NEW】									◎				☆	43	
5 校種間・学校間連携 を活かした特色ある 学校・園づくり	5-1	新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組	【NEW】									◎				☆	45	
	5-2	幼児教育の充実と幼保小連携の推進	【NEW】									◎				☆	47	
6 人権を守り共に支え 合う社会の推進	6-1	人権教育、同和教育の推進、男女平等教育の推進										◎		○	○		49	
	6-2	交流・体験活動の推進													◎		51	
7 家庭教育の充実と子 育て支援	7-1	家庭教育充実への支援										◎					53	
	7-2	子育て支援の充実													◎		55	
8 生涯を通じて学び育 つ学習機会の充実	8-1	主体的な学習を支えるシステムづくり												◎			57	
	8-2	学び育つ各世代への支援	【NEXT】											○	◎	○	☆	59
	8-3	地域における生涯学習活動への支援													◎		61	
9 地域と学校・社会教育 施設が協働する教育 の推進	9-1	地域と共に歩む学校づくりの推進	【NEXT】									◎			○	☆	63	
	9-2	広報広聴活動の推進										◎					65	
	9-3	学校・地域・NPO等の協働の推進										◎			○		67	
	9-4	高等教育機関及び企業との連携推進	【NEW】									◎	◎	◎		☆	69	
	9-5	子ども・保護者・地域住民の学校運営への参画										◎			※		71	
	9-6	市民の生涯学習施設運営への参画													◎	○	73	

基本施策(13施策)	施策 (54施策)		3期進捗 平均評価	担 当 課 (◎とりまとめ課、○関係課、※情報提供課)										☆…説明に 取り上げる 施策 (20施策)	資料頁				
	網掛…[NEXT]&[NEW]に該当する施策			総務	学務	施設	保給	地教推	学人事	教育職	支援	図書	生セ			中公	総セ		
10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進	10-1	防災・安全教育の充実 [NEW]	4.0															☆	75
	10-2	保護者や地域と連携した安心な学校づくりの推進																	77
	10-3	安全な学校施設					◎												79
	10-4	学びを支援する体制の整備と充実 [NEW]								◎									81
11 学校教育・生涯学習環境の基盤整備	11-1	効果的な指導を支援する施設設備の充実 [NEW]																	83
	11-2	コミュニティの拠点としての学校整備																	85
	11-3	学校施設の整備																	87
	11-4	生涯学習施設を核とした学習環境の整備																	89
12 市民に信頼される教育関係職員の育成	12-1	教育関係職員の研修プログラムの充実 [NEXT]																	91
	12-2	教職員への支援体制の充実																	93
	12-3	信頼される教職員の採用・登用・配置																	95
	12-4	教育関係職員の人事管理の適正化																	97
13 ニーズと課題に応える教育行政の創造	13-1	新潟らしい教育改革の推進 [NEW]																	99
	13-2	効果的・効率的な執行体制の整備																	101
	13-3	教育情報の収集と発信																	103
	13-4	学校適正配置																	105
	13-5	教育施策の管理と適切な評価																	107

施策評価の平均	全施策の平均
	NEXT&NEWの平均

施策評価の分布	評価5 … 指標を上回って達成した施策	}	← 平均評価5.0の施策数÷51施策×100
	評価4 … 指標を概ね達成した施策		← 平均評価4.0以上評価5.0未満の施策数÷51施策×100
	評価3 … 指標をもう少しで達成した施策		← 平均評価3.0以上評価4.0未満の施策数÷51施策×100
	評価2 … 指標を下回った施策		← 平均評価2.0以上評価3.0未満の施策数÷51施策×100
	評価1 … 指標を大きく下回った施策		← 平均評価1.0以上評価2.0未満の施策数÷51施策×100

指標目標の 評価基準	指標目標の評価基準は下記のとおり。なお、()内は、減少指標目標の場合
	※ 達成率 = 進捗状況値 ÷ 指標目標値 × 100
	評価5 … 達成率 105%以上(95%未満)
	評価4 … 達成率 95%以上105%未満(同左)
	評価3 … 達成率 85%以上95%未満(105%以上115%未満)
	評価2 … 達成率 75%以上85%未満(115%以上125%未満)
評価1 … 達成率 75%未満(125%以上)	

基本施策 1	確かな学力の向上	施策(1)	社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進(p.17)	[NEXT]
--------	----------	-------	------------------------------	--------

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	ESDを自校の教育活動に位置付けている学校の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	/	20.0	50.0	75.0	85.0			
進捗状況	-	42.5	72.0	85.0				
指標2	「アクティブ・ラーニング」を実施した学校の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	/	100.0	100.0	100.0	100.0		4	100.0%
進捗状況	92.0	95.0	100.0	100.0	100.0			
指標3	放課後の学習支援をする中学校(校)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	/	56	56	56	56		4	100.0%
進捗状況	-	56	56	56	56			
指標4	環境教育に関する実践的な取組を広報する(回)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	/	1.0	1.0	1.0	1.0			
進捗状況	1	1.0	1.0	1.0	1.0			
指標5	環境教育事業の実施						H30評価	
Ⅳ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	/	実施	実施	実施	実施			
進捗状況	実施	実施	実施	実施				
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業【新規】	
H30事業計画	H30事業成果
○持続可能な開発のための教育の啓発 ○学校訪問を通じた指導・助言	
当初予算額 0千円	決算額 千円
構成事業2「アクティブ・ラーニング」による教育活動の推進【新規】	
H30事業計画	H30事業成果
○年間2回実施される研究主任会での支援 ○計画訪問, 要請訪問での具体的支援	
当初予算額 0千円	決算額 千円
構成事業3 アフタースクール学習支援事業(再掲)【新規】	
H30事業計画	H30事業成果
○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会実施(10月11日予定)	
当初予算額 6,182千円	決算額 千円
構成事業4 環境学習の充実(再掲)	
H30事業計画	H30事業成果
○環境学習への支援 ○環境学習発表会	
当初予算額 1,200千円	決算額 千円
構成事業5 環境教育事業(再掲)	
H30事業計画	H30事業成果
○地域住民向け環境教育事業や子ども向け環境教育事業の実施	
当初予算額 188千円	決算額 千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	7,885 千円	H27	6,637 千円
H28	8,916 千円	H28	7,913 千円
H29	8,875 千円	H29	7,764 千円
H30	7,570 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	33,246 千円	合 計	22,314 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○上半期は、学校訪問を通じて主体的・対話的で深い学びのある授業を推進するよう働き掛けてきた。その結果、教職員一人一人に「アクティブ・ラーニング」を進めることで社会の変化や課題に適切に対応できる力を育むことができるという意識を高めることができた。また、ようやく、ESD(持続可能な開発のための教育)の概念が各教職員に浸透してきている。

○5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い、今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校がある。全体での一斉授業と個別の支援の両面から生徒の能力やニーズに応じた学習支援を展開している。

○環境教育の一層の推進を図るため、小・中学校に「地域の特色を活かした環境学習支援事業」の案内・募集を行い、希望校3校(南中野山小、鎧郷小、早通小)指定校9校(笹山小、竹尾小、上所小、亀田西小、金津小、庄瀬小、笠木小、山田小、岩室小)が事業を推進している。また、県が行っている水俣病発生地域間交流事業の依頼を受けて、2校(竹尾小、岩室小)を推薦し、水俣市を中心とした現地学習を行った。その結果、各学校で身近な環境と水俣病との関連に気付き、環境問題を自分たちの問題としてとらえ、子どもたちの意識が高まった。

○子どもたちが、緑豊かな環境の中で、自然とかかわり合う体験をおして学ぶことができるよう「環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業」を案内・募集し、8校(豊栄南小、南中野山小、関屋小、有明台小、曾野木小、早通小、西内野小、赤塚中)が事業を推進している。その結果、対象校の敷地内緑化が進み、子どもたちが自然とかかわり合う体験をおして学ぶことができるようになってきた。

○アクティブ・ラーニングについては、研究主任の研修や学校訪問にかかわって、各校で重点化を図ることができるように働き掛けてきた。各校において主体的・対話的で深い学びを目指し、学校の実態に応じて重点化した研修の取組が推進され、授業改善に活かされている。

○地域住民に向けた自然観察会やクリーン作戦などの環境美化行事を開催することで、身近な自然や環境を実感し、考える機会とした。

●30年度の下半期の取組に向けて

○さらに学校訪問等を通じて、主体的・対話的で深い学びのある授業を推進するよう働き掛けていく。また、広報等でもESD(持続可能な開発のための教育)の概念の理解を広め、他課(環境政策課)とも連携を図りながら進めていく。

○今年度の「地域の特色を活かした環境学習支援事業」推進校を指導、支援するとともに、次年度のモデル校指定に向けて、新規モデル校の指定を働き掛けていく。

○「環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業」の各実践校から報告書を回収し、次年度への取組に活用する。

○10月にアフタースクール学習支援員の研修会を行い、後期の指導に活かしていく。

○新学習指導要領の趣旨を踏まえ、各教科の特質に応じ、学びの過程全体を見渡した単元や題材などの構成や場面に応じた指導方法について、研修会や学校訪問での支援を継続し、アクティブ・ラーニングの質的向上を図る。

○地域住民に向けた環境事業を実施するとともに、学校と連携した環境学習会や地域全体での環境美化運動に取り組み、身近な環境や自然を考える機会を提供する。

●推進委員からの意見・要望等

基本施策 1	確かな学力の向上	施策(2)	学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進(p.18)
--------	----------	-------	------------------------------

●H30施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	キャリア教育の充実を目指して年間指導計画を作成、改善した学校の割合(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		80.0	90.0	100.0	100.0	100.0	4	104.4%
進捗状況	97.0	100.0	100.0	95.8	100.0			
指標2	高等教育機関・関係機関より講師を招聘し、キャリア発達に資する思考力・判断力・表現力を育む授業をした学校の割合(%)						H30評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0		4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
指標3	大学見学・職場見学、インターンシップ(就業体験)等を実施した学校の割合(%)						H30評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0		4	100.0%
進捗状況	-	100.0	100.0	100.0	100.0			
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 キャリア教育推進事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○中学校にキャリア教育リーフレット「中学生のキャリア教育」を配付 ○中学校, 高等学校での職場体験, インターンシップの推進 ○キャリア教育・年間指導計画の作成, 改善	当初予算額	0千円
	決算額	千円
構成事業2 市立高等学校キャリア教育推進事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○高等教育機関や企業等からの講師による授業実施 ○大学見学・職場体験, インターンシップ等の実施 ○キャリア教育・年間指導計画の改善	当初予算額	971千円
	決算額	千円
構成事業3		
H30事業計画	H30事業成果	
	当初予算額	千円
	決算額	千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
	当初予算額	千円
	決算額	千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
	当初予算額	千円
	決算額	千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
	当初予算額	千円
	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,699 千円	H27	1,325 千円
H28	197 千円	H28	1,315 千円
H29	1,214 千円	H29	1,105 千円
H30	971 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	4,081 千円	合 計	3,745 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○キャリア教育リーフレット「中学生のキャリア教育」を職場体験の事前学習や、自分の将来や進路を考える際に活用している。また、リーフレットの中に中学校で身に付けてほしい力として「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリア・プランニング能力」を示し、キャリア教育年間指導計画に位置付けるように改善を進めている。

○6月に大学講義体験を実施し、大学の先生を学校に招いて、複数の講義を体験することで、生徒の大学進学への意欲向上に努めた。

○6月にインターンシップを実施し、職場体験をとおして、生徒が将来の進路や職業観について考える機会を設けた。また7月に大学見学を実施し、県外の複数の大学を訪問し、そこで学ぶ学生とディスカッションすることを通して、生徒が大学で学ぶ意義について考える機会を設けた。

●30年度の下半期の取組に向けて

○市内中学校に配付したキャリア教育リーフレット「中学生のキャリア教育」を職場体験の事前学習や、自分の将来や進路を考える際に活用できるようにする。

○キャリア教育で身に付けてほしい力「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリア・プランニング能力」を示し、その定着を意識しながら学習したり生活したりできるように、キャリア教育を年間指導計画に位置付けるよう引き続き各学校に指導していく。

○市内中学校で実施している職場体験学習の実施状況を調査し、より多くの学校で充実した活動となるよう支援する。

○市内高等学校では大学見学を実施し、県外の複数の大学を訪問し、そこで学ぶ学生とディスカッションしたり、大学の先生を学校に招いて複数の講義を体験したりすることで、生徒の大学進学に対する意欲向上や大学で学ぶ意義について考えられるようにする。

○10月に大学の先生を招いて講演会を実施し、大学進学への意欲を更に向上させるよう努める。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.3

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		61.7	61.9	104.0	104.0	104.0	4	101.5%
進捗状況	70.7	68.5	63.5	106.4	108.0			
指標2	全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		59.7	59.9	104.0	104.0	104.0	4	99.8%
進捗状況	73.4	56.0	50.0	103.3	103.1			
指標3	全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		53.2	53.4	104.0	104.0	104.0	4	100.6%
進捗状況	67.3	66.1	49.0	101.9	102.5			
指標4	全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		61.2	61.3	104.0	104.0	104.0	4	101.8%
進捗状況	62.8	48.2	52.0	102.3	104.1			
指標5	児童質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		84.0	84.5	85.0	86.0		4	92.6%
進捗状況	83.1	87.7	87.4	88.7	82.1			
指標6	児童質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		70.5	71.0	72.0	73.0		5	109.3%
進捗状況	69.8	70.7	74.4	74.3	81.2			
指標7	生徒質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		80.0	80.5	81.0	84.0		4	94.3%
進捗状況	79.1	85.0	84.2	86.1	81.2			
指標8	生徒質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		70.0	71.0	72.0	73.0		5	116.3%
進捗状況	69.0	70.5	71.6	73.2	85.1			

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学力実態調査		
H30事業計画	H30事業成果	
○市内全中学2年生に学力調査(CRT)を実施(理科, 英語) ○学力実態報告書の作成・配付		
当初予算額	4,374 千円	決算額 千円
構成事業2 学力定着支援事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○小学校3・4・5・6年生と中学校全学年用の算数・数学の単元評価問題の作成・配信(年9回) ○理科の評価問題を作成・配信(年4回) ○分析結果をたよりで広報		
当初予算額	506 千円	決算額 千円
構成事業3 アフタースクール学習支援事業【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会実施(10月11日予定)		
当初予算額	6,182 千円	決算額 千円
構成事業4 学習支援員派遣事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○教員を目指す大学生を学習支援員として派遣し, 児童生徒へのきめ細かな学習指導を支援 ○連絡調整費として一回につき1,000円を支給。一人当たりの上限を30回とし, 113名の派遣		
当初予算額	3,360 千円	決算額 千円
構成事業5 理科大好きプロジェクト		
H30事業計画	H30事業成果	
○理科支援員の配置		
当初予算額	2,657 千円	決算額 千円
構成事業6 地域と学校パートナーシップ事業(再掲)		
H30事業計画	H30事業成果	
○本事業にかかる3回の研修会の開催(第1・3回研修会は, コーディネーター・地域連携担当職員対象。第2回研修会は, 新任校長対象。) ○新任コーディネーター研修 ○区研修のための研修幹事会		
当初予算額	138,449 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	19,582 千円	H27	18,877 千円
H28	19,639 千円	H28	17,810 千円
H29	20,405 千円	H29	16,939 千円
H30	17,079 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	76,705 千円	合 計	53,626 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○【全国学力・学習状況調査による学力実態:正答率】
 ・国語A 小学校:73.4%(全国比+2.7), 中学校:76.4%(全国比+0.3) ・国語B 小学校:59.1%(全国比+4.4), 中学校:62.7%(全国比+1.5)
 ・算数数学A 小学校:66.3%(全国比+2.8), 中学校:67.6%(全国比+1.5) ・算数数学B 小学校:53.1%(全国比+1.6), 中学校:48.8%(全国比+1.9)
 ・理科 小学校:62.0%(全国比+1.7), 中学校:67.1%(全国比+1.0)

○成果指標5および7「発表の機会が与えられていたと思うか」の質問が今年度なかったため、「課題に向け、自分で考え、自分から取り組んでいたと思うか」の肯定評価値を入力した。

○学校訪問の継続により、学校で組織的な授業改革の取組が浸透してきた。校長・教頭・研究主任に対し、継続的に授業マネジメント研修を行うことで確実に定着してきたと考えられる。また、中学校の授業改革が進んできた。8月の各教科教諭全員を集めての授業づくり研修が成果につながっている。

○算数・数学の単元評価問題等の配信を継続し、活用問題を加えた。単元配信の活用方法が定着してきていると同時に、指導の要点を基に指導を行い、評価問題に取り組む学校が増えてきた。

○5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い、今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校がある。全体での一斉授業と個別の支援の両面から生徒の能力やニーズに応じた学習支援を展開している。

○理科支援員配置の希望の募集を行い、82校の希望があり、これまでの配置状況から検討し、今年度31校に理科支援員を配置した。各校で有効に活用され、理科の授業の観察・実験等が円滑に進められ、大変助かっているという声が寄せられている。

○7月末までに97人の学習支援ボランティアが登録され、授業等の補助などに当たり、各校で有効に活用されているとともに感謝の声が寄せられている。

* 以下、「9- (1) 地域と共に歩む学校づくりの推進」p64の記載内容を参照

●30年度の下半期の取組に向けて

○毎月集約する理科支援員の出勤状況を管理しながら、支援員の活用が計画的に実施されるよう指導・助言を行う。

○学習支援ボランティアについては、登録者の活動予定を確実に遂行するとともに、さらなる回数増加に向けて、各校に働き掛ける。

○10月にアフタースクール学習支援員の研修会を行い、後期の指導に活かしていく。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施している小学校の割合(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0				
指標2	アグリ・スタディ・プログラム評価・サポート委員会によるプログラムの検証率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		25.0	50.0	75.0	100.0	100.0		
進捗状況	-	25.0	50.0	75.0				
指標3							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進事業【新規】			
H30事業計画		H30事業成果	
○ASP総合推進会議, ASP推進委員会, ASP評価・サポート委員会を開催し, ASPの改善点の検討を実施 ○ASP研修会の開催, 活用のポイントを周知			
当初予算額	0千円	決算額	千円
構成事業2		0	
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業3			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4		0	
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	0 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○第1回ASP総合推進会議を5月15日に実施。第1回ASP推進委員会を6月13日に実施。ASP評価・サポート委員会を6月13日、7月25日に実施し、ASPの改善点の検討を実施

○ASP研修会の4回開催、活用のポイントを周知

●30年度の下半期の取組に向けて

○第2回ASP総合推進会議、第2回ASP推進委員会、ASP評価・サポート委員会を実施し、ASPの改善点を検討する。

○改善点に基づいたASP研修会を開催し、ASP活用のポイントを周知。ASP成果発表会、アグリパークを語る会を準備。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		家庭学習を1時間以上する中学校2年生の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標		51.8	51.9	57.7	62.6				
進捗状況	-	51.8	57.6	62.5					

指標2								H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

指標3								H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

指標4								H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

指標5								H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

指標6								H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

指標7								H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

指標8								H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学習習慣定着事業	
H30事業計画	H30事業成果
○家庭学習実態調査の実施 ○啓発活動の推進(HP・支援課広報紙「サポート」等)	
当初予算額 109 千円	決算額 千円

構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	534 千円	H27	223 千円
H28	398 千円	H28	343 千円
H29	223 千円	H29	239 千円
H30	109 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	1,264 千円	合 計	805 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○全教職員に配付したリーフレットを活用し、各校での家庭学習習慣定着への取組を促した。

○小学校・中学校ともに、全校体制で家庭学習習慣定着に取り組む学校が増加している。

●30年度の下半期の取組に向けて

○学校訪問の全体指導、広報紙「サポート」を活用し、先進的な取組を紹介し、各校への啓発を継続する。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	学校図書館を活用した授業を「月に数回程度」行った小学校の割合(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		78.0	79.0	80.0	81.0	82.0		
進捗状況	77.2	75.6	46.8	74.7				
指標2	学校図書館を活用した授業を「学期に数回程度」行った中学校の割合(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56.0	57.0	58.0	59.0	60.0		
進捗状況	55.1	62.1	55.2	71.9				
指標3	中学生の不読率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		12.0	11.5	11.0	10.5	10.0		
進捗状況	12.1	12.3	11.8	11.4				
指標4	ほぼ毎日新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント)→H29～週に1回以上新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2.8	2.8	2.8	2.8			
進捗状況	2.7	1.0	1.1	1.6				
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8	0						H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学校図書館活用推進校事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○小学校22校, 中学校14校を学校図書館活用推進校として指定 ○年度末(2月)に実践発表会開催 ○HP, 学校支援課だより「サポート」で代表的実践例紹介	当初予算額	0千円
	決算額	千円
構成事業2 学校図書館支援事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○蔵書システム運用サポート体制維持, 公務出張対象研修の運用による支援(4月～) ○学校図書館地域開放実施(7, 8月) ○学校図書館支援センター運営検討委員会開催, 次年度司書配置(3月)	当初予算額	245千円
	決算額	千円
構成事業3 学校図書館支援センター事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○学校図書館訪問, 相談対応 ○新任学校司書研修, 学校司書実務研修 ○学校貸出図書搬送事業 ○学校貸出セット「オレンジBOX」追加整備と貸出	当初予算額	2,110千円
	決算額	千円
構成事業4 新聞活用の推進【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○小学校8校, 中学校8校を新聞活用教育(NIE)推進校として指定 ○推進校における, 新聞活用教育の授業実践の支援 ○年度末(2月)に実践報告集を各校に配付	当初予算額	109千円
	決算額	千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
	当初予算額	千円
	決算額	千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
	当初予算額	千円
	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	2,160 千円	H27	1,888 千円
H28	2,521 千円	H28	1,928 千円
H29	2,055 千円	H29	2,155 千円
H30	2,464 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	9,200 千円	合 計	5,971 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○学校図書館活用推進校として、小学校22校、中学校14校を指定し、5月に学校図書館活用推進校研修会を実施した。「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を高めるための取組について共通理解を図ることができた。

◎蔵書管理システムサポート代表校(16校)を組織して、年度途中の司書の交替に対し、その都度代表校の司書を派遣し、蔵書管理システムの取扱いの支援を行い、学校図書館の円滑な運営に努めた。

◎夏季休業中の学校図書館地域開放を小学校77校、中学校15校で行い、子どもたちのほか、保護者や地域の方々にも学校図書館の利用を通して、学校図書館への理解を深めてもらうことができた。

○学校図書館支援センターの取組は以下のとおり

- ・4つの学校図書館支援センターが、市立小・中学校、中等教育学校、特別支援学校、高等学校の全校を訪問し(8月末までに185回)、学校図書館の運営や活用の状況を聞き取り、業務相談を行った。特に新任の司書には個別に連絡を取り助言した。
- ・新任学校司書研修を5回実施した(年6回予定)。学校司書実務研修を豊栄図書館で実施した。
- ・図書館から学校へ、団体貸出(8月末までに23,219冊、その中で宅配による学校貸出図書搬送は10,676冊)により、授業や読書活動を支援した。
- ・特別支援教育に関する情報収集に努め、必要とする学校へ提供した。
- ・新潟市の学校図書館と学校図書館支援の取組を新潟市内外に広く発信するため、学校図書館大会で新潟市の取組を発表した。

○新聞活用教育(NIE)推進校として、各区1校(小学校8校、中学校8校)を4月に指定し、新聞の複数紙配備を継続した。

○各校の新聞活用計画に基づき、実践を継続している。

○新聞を活用した授業実践についての研修(2校)、児童生徒対象の新聞活用講座(4校)を県NIE事務局に依頼して実施した。

●30年度の下半期の取組に向けて

○「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を高めるために有効だった実践例を各校に周知し、授業での活用を促す。

○年度末(2月)に学校図書館活用推進校実践発表会を行う。各校の優れた実践を共有し、次年度の実践に活かすことができる研修会になるよう、運営の仕方・内容を工夫する。

◎学校図書館支援センターの運営について、4つの支援センターごとに設置している「運営協議会」と全市の支援センターの在り方について協議する「運営検討委員会」を通して課題を共有し、効果的な学校図書館支援が行えるよう引き続き協議・検討する。

○学校図書館支援センターの取組は以下のとおり

- ・新任司書勤務校及び訪問要請校を対象とした学校図書館訪問を行う。
- ・学校図書館訪問や資料提供により、学校図書館活用推進校事業に協力し、学校で必要な資料の提供や個別の相談に対応する。8区で行われる実践報告会に出席し、各区の取組状況を把握する。
- ・学校司書全員を対象にした学校司書実務研修を各学校図書館支援センターで実施し、学校司書のスキルアップや業務の平準化を図る。
- ・団体貸出(学校貸出図書搬送を含む)を継続し、必要な資料の利用状況の分析を行い、「オレンジBOX」を含めた学校での図書館活用を支える蔵書の整備を進める。
- ・特別支援教育に関する情報収集に努め、必要な学校への提供を継続する。
- ・引き続き、新潟市の学校図書館と学校図書館支援の取組を新潟市内外に広く発信するよう努める。

○各校の新聞活用計画に基づき実践を進める。

○実践報告集を基に事業推進に効果的な取組を各学校に周知し、授業での活用を促す。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童(小6)の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		80.0	80.0	80.0	80.0		5	105.8%
進捗状況	79.8	78.5	80.3	82.1	86.9			
指標2	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「自分には、よいところがあると思う」と回答した生徒(中3)の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		72.0	72.0	72.0	72.0		5	107.0%
進捗状況	70.6	72.4	71.5	75.5	80.8			
指標3	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」と回答した児童(小6)の割合(%)→H29～「新潟市の学校教育実践状況調査」で上記評価を実施						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		96.5	96.5	96.5	96.5			
進捗状況	96.0	95.2	—	90.4				
指標4	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」と回答した生徒(中3)の割合(%)→H29～「新潟市の学校教育実践状況調査」で上記評価を実施						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		96.5	96.5	96.5	96.5			
進捗状況	96.1	95.6	—	90.2				
指標5	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思う」と回答した児童(小6)の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		98.0	98.0	98.0	98.0		4	100.3%
進捗状況	97.5	97.1	97.6	97.8	98.1			
指標6	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思う」と回答した生徒(中3)の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		95.0	95.3	95.0	95.0		4	102.6%
進捗状況	94.3	95.2	94.8	94.6	97.1			
指標7	子育て学習出前講座(小学校)の実施率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		90.2	90.2	90.2	90.2	90.2		
進捗状況	90.2	94.5	94.4	94.4				
指標8	子育て学習出前講座(中学校)の実施率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		26.3	26.3	28.0	28.0	29.8		
進捗状況	24.5	24.5	28.1	36.8				
指標9	家庭教育学級数(講座)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		63	64	68	69	69		
進捗状況	63	68	68	66				

●施策を構成する事業

構成事業1 道徳教育の充実、福祉教育の充実、人権教育、同和教育の推進、男女平等教育の推進(再掲)		
H30事業計画	H30事業成果	
○道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業の実施 ○小・中学校教員を対象にした道徳教育研修会を実施 ○人権教育、同和教育に関する研修会の実施 ○男女平等教育のための資料作成と配付		
当初予算額	3,152 千円	決算額 千円
構成事業2 家庭教育振興事業(再掲)		
H30事業計画	H30事業成果	
○出産前から子どもの成長期に合わせた家庭教育学級の実施 ○朝ごはん料理講習会の実施 ○子育て学習の出前講座の実施(小・中学校)		
当初予算額	10,660 千円	決算額 千円
構成事業3		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	420,420 千円	H27	9,274 千円
H28	13,051 千円	H28	11,009 千円
H29	16,014 千円	H29	14,138 千円
H30	13,812 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	463,297 千円	合 計	34,421 千円

注：再掲事業分を含む

＜前ページの指標目標の設定型＞

- I 型：第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型：初年度、中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型：前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型：数値ではなく文字で設定

● 30年度の上半期の取組に対する評価

- 中学校道徳教育推進教師を対象とする研修会を実施した。
 - 市内小・中学校から推進校8校を選定し、道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業を委託した。
 - 人権教育、同和教育の研修会を実施した。
 - 全小・中学校、特別支援学校に配付した福祉読本を活用した福祉教育が行われている。
 - 男女平等教育についての資料は、7月にデータをCD化したものを全小・中・高等学校に配付した。各校の授業で活用されている。
- ※成果指標3,4については、評価対象となる全国学力・学習状況調査項目が変更になった(「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」→H29「人が困っているときは、進んで助けていますか」、H30「人の役に立つ人間になりたいと思う」)ため、H30年度の成果を評価することができなかった。(参考：H30年度調査結果「人の役に立つ人間になりたいと思う」小6:96.8%、中3:96.4%)
- 出産前の妊婦を対象としたプレママ学級や乳児期から思春期まで子どもの成長期に合わせた家庭教育学級や父親学級を実施することにより、子育ての知識や情報、親としての関わり方などを学ぶ機会を提供し、家庭教育の充実を図った。また、家庭教育学級の中に土日の開催も取り入れることで、パートナーと一緒に参加してもらい、夫婦で子育ての意識を共有することができた。
 - 子どもたちが健やかに成長していくために必要な基本的生活習慣の確立や生活リズムの向上を図るため、おはよう朝ごはん料理講習会を24コミュニティ協議会と協働で実施した。
 - 小中学校と連携して、就学時健診や新入学学校説明会など保護者が集まる機会に、家庭教育の大切さやインターネット・SNSの利用についての講演を行う「子育て学習出前講座」の実施を呼びかけた。

● 30年度の下半期の取組に向けて

- 道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業推進校が道徳教育パワーアップ研修会を各区で開催する。
- 人権教育、同和教育の研修会は、11月に各校・園の担当者会を行う。前期同様、参加者の満足度を高めるように進めていく。
- 福祉読本の活用について、各校に奨励する。
- 男女平等教育については、配付した資料の活用を各校に奨励していく。さらに、来年度の資料改訂に向けて見直しを進める。
- 引き続き、子どもの成長期に合わせた家庭教育学級を開催するとともに、夫婦で参加し子育ての意識を共有できるような機会を提供していく。また、ひとり親家庭など様々な生活環境にある保護者も参加しやすいように、開催曜日や時間を考慮して講座を開催していく。
- 規則正しい生活リズムや朝ごはんの大切さを啓発していくため、早寝早起き朝ごはん推進事業に関連した事業を、地域や諸団体と連携しながら、実施していく。
- 小・中学校と連携して、就学時健診や新入学学校説明会などが開催される機会に、子育て学習出前講座を開催し、家庭教育の意識啓発を図る。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	新潟市生活・学習意識調査の「自律性」「社会性」にかかわる質問項目のうち、肯定的な回答が前年度の数値を上回った項目の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		66.7	66.7	67.0	70.0			
進捗状況	61.1	83.3	69.2	90.9				
指標2	小学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H30評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	97.0	97.0	100.0		
進捗状況	96.2	99.1	95.8	97.4				
指標3	中学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H30評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	97.0	95.0	100.0		
進捗状況	94.5	96.3	98.1	94.2				
指標4	小学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		0.38	0.38	0.38	0.40			
進捗状況	0.40	0.44	0.47	0.56				
指標5	中学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2.65	2.62	2.60	2.64			
進捗状況	2.69	2.64	2.98	3.11				
指標6							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 いじめ対策等生徒指導推進事業【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○本市の生徒指導の考え方・体制について周知を図るための研修会の実施 ○いじめ防止に関する会議の開催 ○「新潟市いじめ防止フォーラム」の開催		
当初予算額	210 千円	決算額 千円
構成事業2 教育相談ネットワーク事業・カウンセラー等活用事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○スクールカウンセラーを全ての小学校, 中学校, 高等学校, 中等教育学校に配置		
当初予算額	79,676 千円	決算額 千円
構成事業3		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額		決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	88,651 千円	H27	89,742 千円
H28	83,419 千円	H28	81,800 千円
H29	80,653 千円	H29	81,690 千円
H30	79,886 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	332,609 千円	合計	253,232 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○いじめ・不登校の適切な対応のために平成30年度4月に「いじめ・不登校の初期対応ガイドブック」を作成し全教職員へ配付した。配付に伴い、校長対象の説明会を実施し、いじめ・不登校の初期対応についての考え方や体制・組織等についての周知を図った。

○児童・生徒の自律性・社会性の育成及び問題への適切な対応に向けて、学校訪問等の機会をとらえて、指導・支援を行った。

○いじめ防止市民連絡協議会を実施し、いじめの現状について情報共有を図るとともに、未然防止等に向けた取組や具体的な事案への対応の検討等を行った。

○カウンセラー配置・派遣では、スクールカウンセラーを全ての新潟市立学校に配置し、児童生徒、保護者、教職員へのカウンセリングと校内研修の助言等を行い、児童生徒、保護者が抱えている問題の解決または一定の解消が見られた。

○5月に起きた西区小学生女児殺害事件の際に、当該小学校児童・保護者及び教職員に対して、緊急スクールカウンセラーを派遣し、児童・保護者及び教職員の心のケアを実施し、心的不安に対する一定の解消が見られた。

○各学校からの欠席報告を確実にを行い、各区教育支援センター、教育相談センター、訪問教育相談員、各区教育相談室など、不登校にかかわる機関で情報を共有し、不登校の未然防止の意識を高めた。不登校数の多い学校には、直接学校訪問し、減少に向けた取組について指導した。

○不登校児童生徒に対する組織的な支援と小中一貫した継続的な支援のために「児童生徒理解・教育支援シート」の活用推進を図った。

●30年度の下半期の取組に向けて

○12月に「新潟市いじめ防止フォーラム」を開催する。

○学校訪問等を通じて、児童生徒の自律性・社会性の育成及び、「いじめ・不登校の初期対応ガイドブック」の活用に向けた指導を継続する。

○各学校からの欠席報告を各区教育支援センター、教育相談センター、訪問教育相談員、各区教育相談室など、不登校にかかわる機関で情報を共有し、不登校の未然防止の取組を継続して行う。

○カウンセラーの派遣を適切かつ必要性に応じて全ての市立学校に行うとともに、学校・カウンセラーとの連携を密に、日常的・緊急的な生徒指導を継続して展開する。

●推進委員からの意見・要望等

○「いじめ・不登校の初期対応ガイドブック」の周知徹底を図った結果とあるが、どこをどのように変えたのか。
⇒「いじめられた」と感じればいじめであるとして件数のカウントをしている。また認知件数が少ない学校には、子どもたちの様子を更によくみるように指導している。いじめがあった場合はいじめ対応ミーティングを行って対応している。「いじめ見逃し0」を進めるとともに、早期対応・早期解決に取り組んでいる。その一方で、いじめを生まない学級づくりも進めている。

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	自然体験学習を実施した学校の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	94.6	94.0	95.0	95.0	95.0	95.0		
進捗状況	94.6	96.4	95.3	95.3				
指標2	子供向け体験活動事業参加者数(人)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	21,011	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300		
進捗状況	21,011	20,516	20,365	19,670				
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 自然体験学習の支援		
H30事業計画	H30事業成果	
○体験学習の意義等の周知		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業2 子ども体験活動・ボランティア活動推進事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○土日や長期休業期間に家庭や学校ではできない集団活動や多様な体験活動事業の実施		
当初予算額	2,320千円	決算額 千円
構成事業3		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	15,244 千円	H27	17,494 千円
H28	14,418 千円	H28	13,726 千円
H29	9,312 千円	H29	8,792 千円
H30	2,320 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	41,294 千円	合 計	40,012 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○今年度より1学級当たり3万円のバス代補助が削減されたが、各学校では、例年同様、アグリパーク、胎内少年自然の家、五頭少年自然の家、妙高少年自然の家、佐渡等で、子どもたちの自然体験学習(野外炊飯、キャンプファイヤー、自然観察等)が活発に行われている。

○学校が休みになる土日や夏休みなどの長期休業期間に、家庭や学校ではできない集団活動やキャンプなどの野外活動、ものづくりなどの体験活動事業を実施し、子どもたちの健全育成を図ると同時に、異年齢や異なる学校の子どもの仲間づくりを推進した。

●30年度の下半期の取組に向けて

○これまでどおり活発な活動が継続していくように、自然体験活動の意義等を各学校に周知していく。

○自然体験や生活体験が希薄な子どもたちに、土日や長期休業期間に体験活動事業を実施し、子どもたちの健全育成を図る。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	優れた音楽や芸術に触れる機会の提供(回)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2	2	2	2			
進捗状況	4	3	3	3				
指標2	伝統文化の体験学習事業の参加者数(人)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000		
進捗状況	5,081	6,663	6,509	6,101				
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 優れた音楽・芸術に触れる機会の提供		
H30事業計画	H30事業成果	
○「こころの劇場」招待公演の開催 ○文化芸術による子どもの育成事業 巡回・派遣公演 ○事業内容の検討		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業2 伝統文化の体験学習(再掲)		
H30事業計画	H30事業成果	
○地域の伝統・文化の体験と次世代への継承		
当初予算額	1,448千円	決算額 千円
構成事業3		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	32,396 千円	H27	40,279 千円
H28	40,579 千円	H28	39,269 千円
H29	39,771 千円	H29	36,789 千円
H30	1,448 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	114,194 千円	合 計	116,337 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○和太鼓や管楽器など地域の伝統や文化を体験することにより、子どもたちに伝統文化の素晴らしさを継承することの大切さを知ってもらう機会とした。

○新潟漆器の絵付けや、南区の大凧合戦など地域の伝統や文化を体験することにより、子どもたちに伝統文化の素晴らしさを継承することの大切さを知ってもらう機会とした。

●30年度の下半期の取組に向けて

○こころの劇場は、10月1日(月)・2日(火)に実施した。

○引き続き、地域や日本の伝統や文化を体験することにより、子どもたちに伝統文化の素晴らしさを継承することの大切さを伝え理解を深める。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	中学校の体力テストの各項目で全国平均値を上回った項目の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		51.0	52.0	47.0	54.0	55.0		
進捗状況	52.1	47.9	47.9	56.3				
指標2	運動習慣等調査中2女子の「運動が好きですか」の肯定的評価の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		80.5	82.0	82.0	82.0	85.0		
進捗状況	79.2	77.6	77.8	78.1				
指標3	運動習慣等調査中2女子の「運動が得意ですか」の肯定的評価の割合(%)						H30評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		58.0	59.0	-	-	-		
進捗状況	56.7	55.8	-	-	-	-		
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1「体力向上ジャンプアップ」推進事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○「体力向上ジャンプアップ」を小・中学校ごとに集約, 情報提供		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業2「体力向上・運動大好きプロジェクト」		
H30事業計画	H30事業成果	
○体力向上指導者養成研修へ2名派遣 ○伝達講習会の実施(小学校2回・幼稚園1回・中学校1回) ○CD「学校体育のあしあと」作成, 市立学校全校へ配付		
当初予算額	142千円	決算額 千円
構成事業3「中学校部活動エキスパート・サポート事業」		
H30事業計画	H30事業成果	
○運動部エキスパートとして50名以上を派遣 ○運動部サポーターとして40名以上を派遣		
当初予算額	4,452千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6「地域と学校パートナーシップ事業【再掲】」		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4,681 千円	H27	4,511 千円
H28	4,675 千円	H28	4,376 千円
H29	4,707 千円	H29	4,492 千円
H30	4,594 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	18,657 千円	合 計	13,379 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○体力向上ジャンプアップを集約し、各校に配付できた。今年度は、各校の目標分類一覧や、独自の取組を紹介するページを作り、各校で実践に生かせるよう改善した。

○スポーツ庁主催体力向上指導者養成研修(東部ブロック)へ2名派遣した。2人とも、「新しい情報を吸収でき研鑽できた」と成果を実感できた。研修後には、市立学校体育指導伝達講習会で講師役を務めるとともに、夏季休業中には各勤務校で研修会を実施した。機会のあるごとに、体育指導者に学んだことを広めさせた。

○伝達講習会(小学校2回・幼稚園1回)を実施した。各小学校及び幼稚園から1名以上の参加があり、各校園での伝達講習会が進んでいる。

○文部科学省の部活動ガイドラインに基づいて、各校が練習時間を調整して減らしたり、外部指導員を活用して担当者の指導時間を減らしたりして、部活動の運営について改善が進んだ。

●30年度の下半期の取組に向けて

○部活動ガイドラインに基づき、部活動指導員の配置を進め、適切な部活動運営を継続する。

○中学校指導者講習会(対象:北区,東区,中央区,江南区)を11月に実施し、各校にスポーツ庁主催体力向上指導者養成研修(東部ブロック)の内容を伝達する。

○市立各学校での授業実践と研究や体育事業をさらに実りのあるものにするのが求められる。そのために、市小研,中教研,中体連の組織を生かすとともに、運営に関する支援を進める。さらには、年度末に「学校体育のあしあと」として実践内容をまとめ、多方面への情報発信を行う。

●推進委員からの意見・要望等

○「適切な部活動運営を継続する」と記載されているが、「適切」と言うのはどのようなことで、どの程度実行されているのか。
⇒ 文部科学省のガイドラインを受けて、新潟市でも部活動ガイドラインを策定した。そこに部活動の休みの日を位置付け、ガイドラインに沿った部活動運営をしている。

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		肥満傾向の児童生徒の割合(%)					H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		6.44	6.07	5.69	5.32	5.30		
進捗状況	6.82	6.68	6.92	6.91				
指標2		中学1年生一人平均う歯(むし歯)数(本)					H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		0.51	0.46	0.41	0.36	0.30		
進捗状況	0.56	0.53	0.51	0.44				
指標3		健康診断の確実な実施(回)					H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2	2	2	2			
進捗状況	2	2	2	2				
指標4		研修会の実施(回)					H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		6	6	7	7			
進捗状況	6	6	6	9				
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 児童生徒の生活習慣病予防対策事業		
H30事業計画		H30事業成果
○パンフレットを作成し, 健康教育に活用 ○小4, 中1の希望者に血液検査などの健診を実施 ○健診結果説明会の開催 ○健康相談会の実施		
当初予算額	7,330 千円	決算額 千円
構成事業2 児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業		
H30事業計画		H30事業成果
○「むし歯予防教室」, 「歯肉炎予防教室」の開催 ○フッ化物洗口の実施		
当初予算額	11,736 千円	決算額 千円
構成事業3 各種健康診断事業		
H30事業計画		H30事業成果
○就学時健康診断 ○定期健康診断		
当初予算額	196,484 千円	決算額 千円
構成事業4 健康教育に関する研修の充実		
H30事業計画		H30事業成果
○保健主事研修 ○養護教諭研修 ○保健の授業づくり ○学校におけるアレルギー疾患への対応研修会 ○学校保健研修会 ○がん教育研修会		
当初予算額	1,550 千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画		H30事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画		H30事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	224,064 千円	H27	213,091 千円
H28	219,969 千円	H28	210,704 千円
H29	221,007 千円	H29	214,399 千円
H30	217,100 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	882,140 千円	合 計	638,194 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の上半期の取組に対する評価

◎児童生徒の生活習慣病予防対策事業については、生活習慣病予防パンフレットを小学校4年生及び中学校1年生の保護者に6月に配付し、各学校で指導するとともに、夏休み期間を利用して、小学校4年生と中学校1年生の希望者に生活習慣病健診を実施した。生活習慣病健診は小学校4年生1,001人、中学校1年生653人、計1,654人が受診した。受診率は12.8%で、昨年度に比べ0.4%の増となった。

◎児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業については、むし歯予防教室や歯肉炎予防教室を行う巡回歯科指導を実施するための準備を行った。小学校103校、中学校22校、中等教育学校0校、特別支援学校2校、計127校で実施し、歯科保健教育に関する意識の向上が持続していると考えている。フッ化物洗口については、平成30年度は小学校12校の新規立ち上げを進めており、教職員及び保護者説明会、希望調査、洗口練習とステップを踏み、丁寧に説明することで、フッ化物洗口に関する正しい知識を周知し、十分な理解を得たうえで進めることができていると考えている。

◎各種健康診断事業については、学校保健安全法に基づく定期健康診断及び精密検査を予定どおり実施し、疾病の早期発見や児童生徒の健康管理や指導に努めるとともに、小学校就学予定者に対する就学前健康診断を円滑に実施できる準備を整えた。また、運動器の機能に関わる検査については、新潟大学整形外科教授や市内の整形外科医を中心とした検討委員会において助言をいただきながら進めており、着実に実施することができた。

◎健康教育に関する研修の充実については、アレルギー疾患への対応、感染症、生活習慣病、喫煙や飲酒、薬物乱用、いじめや不登校、虐待など多岐にわたる健康課題の解決に向け、これらの的確な対応、適切な指導を求められており、養護教諭の専門的な資質や技量の向上のため研修を実施している。また、「がん教育総合支援事業」を展開するため、推進校3校を指定し、準備を進めた。

● 30年度の下半期の取組に向けて

◎児童生徒の生活習慣病予防対策事業については、要医療者に受診勧奨を行い、要指導者には事後の健康相談への参加を促している。また、健診結果集計データについては、学校における保健指導の資料として活用するとともに、平成31年度の健診対象者に前年度のうちから勧奨を行い、受診希望者の掘り起こしを行っていく。なお市立高校3校の生徒には、生活習慣指導を行い、小学校・中学校との継続指導を実施する。その他、新規事業として、生活習慣病健診結果説明会や健康相談を実施する。

◎児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業については、歯科衛生士の協力を得て、希望する学校に歯科衛生士を派遣し、むし歯予防教室や歯肉炎予防教室を行う巡回歯科指導を実施する。フッ化物洗口については、平成30年度の新規立ち上げ校小学校12校がフッ化物洗口を開始するための準備を着実に進めていく。平成30年度末で実施校・園数は、市立幼稚園全10園、小学校93校、中学校8校となる予定であり、フッ化物洗口を着実に広めていくことで、健康で丈夫な歯づくりを進め、う歯の有病者率を抑制していくことができると考えている。

◎各種健康診断事業については、定期健康診断及び精密検査の結果を集計し、学校保健統計資料を取りまとめるとともに、要精密検査の受診勧奨を行っていく。また、昨年度に導入された成長曲線・肥満度曲線の活用についても、引き続き研究していく。

◎健康教育に関する研修の充実については、多様化・複雑化する児童生徒の健康課題に的確に対応するため、学校におけるアレルギー疾患への対応研修会及び学校保健研修会を養護教諭や学校保健関係者に広く呼びかけて、充実した研修会を開催する予定である。また、「がんの教育総合支援事業」については、がん教育研修会や推進校3校において実践的な取組を進めていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均	

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	児童生徒の朝食欠食率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1.4	1.3	1.2	1.1	1.0		
進捗状況	1.4	1.4	1.5	1.6				
指標2	給食の残食量の減少(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		3.20	3.15	3.10	3.05	3.00		
進捗状況	2.80	2.70	3.30	4.20				
指標3	スクールランチ利用率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		68.7	68.7	69.2	69.6	70.0		
進捗状況	68.7	69.3	68.9	68.4				
指標4	地場農林水産物の使用率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		15.8	15.8	15.8	15.9	16.0		
進捗状況	15.8	16.7	16.6	16.0				
指標5	おはよう朝ごはん料理講習会実施か所数(か所)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		36	37	38	39	40		
進捗状況	34	39	39	38				
指標6							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1「食に関する指導」推進事業		
H30事業計画	H30事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ○食育指導者の派遣 ○研究推進校の指定(4校, H29-30) ○栄養教諭等研修会の開催 ○食に関する指導研修会の実施 		
当初予算額	350千円	決算額 千円
構成事業2 学校と家庭との連携強化事業		
H30事業計画	H30事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ○食育ミニフォーラムの開催(10月・11月) ○親子料理教室の実施(各学校) ○給食・学校だよりの発行(各学校) ○保護者対象の懇談会の開催 		
当初予算額	32千円	決算額 千円
構成事業3 スクールランチ運営事業		
H30事業計画	H30事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ○食育指導者派遣 ○試食会の開催 ○リクエスト及び募集献立の実施 ○スクールランチ運営委員会・食育推進部会 		
当初予算額	872千円	決算額 千円
構成事業4 学校給食の充実事業		
H30事業計画	H30事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ○地産地消の推進 ○完全米飯給食の実施 		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業5 家庭教育振興事業(おはよう朝ごはん料理講習会)		
H30事業計画	H30事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ○朝ごはん料理講習会の実施 		
当初予算額	448千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	2,365 千円	H27	1,606 千円
H28	2,228 千円	H28	1,111 千円
H29	2,287 千円	H29	1,504 千円
H30	1,702 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	8,582 千円	合 計	4,221 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○「食に関する指導」推進事業については、食育指導者を派遣し、栄養士が配置されていないスクールランチ実施校において、中学生の年代に合わせた食育を行うことができた。研究推進校の指定については、29年度に小中4校を指定し、2か年目となる今年度は調理実習や弁当の日のほか、体験型の活動を取り入れながら食育効果をあげる研究に取り組んでいる。

○学校と家庭との連携・協力事業については、各学校で給食だよりや学校だより等による食育啓発のたよりの発行を行っており、保護者対象の懇談会や給食試食会を開催するなど家庭との連携を図った。食育ミニフォーラムは10月及び11月に開催する予定である。

○学校給食の充実事業については、引き続き完全米飯給食を推進し、学校給食において日本型食生活を実践した。市内産の給食食材の使用率向上について農林水産部や各区役所と連携し、地場産給食事業を各学校や給食センターで行っているほか、市場と連携し汎用性の高い馬鈴薯やたまねぎなど、市内産青果物の斡旋を各学校や給食センターに対し行った。また、標準献立には毎月2回(7月から12月は月3回)「地場産推奨献立」を取り入れ、地場産使用率の向上に努めている。

○中学校スクールランチ運営事業については、食育指導者の派遣を13校で26回行い、朝食の大切さと中学生の栄養・スポーツ栄養と食事・受験期の栄養と食事についての講演会を実施し、生徒が自分の食生活を見直すきっかけとなった。保護者対象のスクールランチ試食会は10校で実施。栄養バランスの整った給食を食べることにより、適切な中学生の栄養摂取について理解を深めてもらうことができた。スクールランチ運営委員会と食育推進部会を各1回ずつ開催し、食育推進部会では残食を減らす取り組みや、学校における食育活動の実践について情報交換を行い、今後の運営改善に役立てることができた。

○子どもたちが健やかに成長していくために必要な基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上を図るため、おはよう朝ごはん料理講習会を24コミュニティ協議会と協働で実施した。

●30年度の下半期の取組に向けて

○「食に関する指導」推進事業については、引き続き学校の要請に応じて食育指導者を派遣し、学校における食育の推進を図っていく。また、11月には各校の給食主任を対象に行い、研究指定校のこれまでの取組について発表を行う。これにより各校の食育の取組に役立ててもらおうこととする。

○学校と家庭との連携・協力事業については、食育ミニフォーラムを亀田西中学校で10月に、濁川中学校で11月にそれぞれ開催し、食の大切さを学習するなど保護者や地域を巻き込んだかたちで食育効果を高めていく。また、引き続き給食だよりや学校だよりの発行等を通じて家庭との連携を図っていくほか、研究指定校については、2月の市学校給食会の理事幹事会において研究成果を発表し、他の学校と成果を共有していくこととしたい。

○学校給食の充実事業については、これまで同様完全米飯給食を推進し、学校給食において日本型食生活を実践する。市内産の給食食材の使用率向上について、引き続き農林水産部等関係部署と連携していくほか、12月までの間は地場産食材を多く取り入れた地場産推奨献立を月3回実施するなど、地産地消の推進を図る。

○中学校スクールランチ運営事業については、引き続き食育指導者派遣や試食会を実施し、食の大切さについて理解を深めていきたい。また、食に対する関心を生徒からより持ってもらうため「リクエスト献立」を11月に、生徒が考えた献立を給食にする「募集献立」を2月に実施し、スクールランチへの理解と利用促進を図る。2月に第2回スクールランチ運営委員会を開催し、さらなる改善を図っていく。

○規則正しい生活リズムや朝ごはんの大切さを啓発していくため、早寝早起き朝ごはん推進事業に関連した事業を、地域や諸団体と連携しながら、実施していく。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均
331.0%

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	継続支援終了者(延べ人数)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		22	32	42	52	62	5	119.6%
進捗状況	12	36	42	56	67			
指標2	若者支援者養成講座修了者(延べ人数)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		101	101	191	231	231		
進捗状況	71	131	191	191				
指標3	中央育成活動回数(回)→H29～中央育成活動及び地域との合同育成活動回数(回)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		184	368	612	828	1,044		
進捗状況	171	275	515	759				
指標4	わたしの主張大会参加校(校数)→H29～わたしの主張大会参加団体数(団体)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		19	21	20	21	23	5	120.0%
進捗状況	17	18	17	20	24			
指標5	子ども向け体験活動事業参加者数(人)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		21,300	21,300	21,300	21,300	21,300		
進捗状況	21,011	20,516	20,365	19,670				
指標6	青少年の居場所設置か所数(か所)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		19	19	19	19	19		
進捗状況	19	18	19	19				
指標7							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 若者支援事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○若者支援センター事業 ・相談事業 ・若者の社会参加及び自立支援事業 ・居場所の運営 ○若者支援者養成講座		
当初予算額	5,944 千円	決算額 千円
構成事業2 非行防止対策事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○街頭育成活動 ○社会環境浄化活動 ○非行・被害防止キャンペーン		
当初予算額	4,022 千円	決算額 千円
構成事業3 青少年健全育成事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○青少年関係団体の育成及び活動への支援 ○わたしの主張大会開催		
当初予算額	2,978 千円	決算額 千円
構成事業4 子ども体験活動・ボランティア活動推進事業(再掲)		
H30事業計画	H30事業成果	
○土日や長期休業期間に家庭や学校ではできない集団活動や多様な体験活動事業の実施		
当初予算額	2,320 千円	決算額 千円
構成事業5 青少年の居場所づくり事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○公民館の講座室またはスペースを「子どもの居場所」として開放 ○長期休業中などの学習室の開放		
当初予算額	194 千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	21,243 千円	H27	18,826 千円
H28	18,629 千円	H28	16,528 千円
H29	17,318 千円	H29	15,393 千円
H30	15,458 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	72,648 千円	合 計	50,747 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○青少年への相談や自立に向けた事業においては、新潟市若者支援協議会を5月に開催し、関係機関の連携強化を図った。新潟市若者支援センター(オール)の平成30年度8月末現在の面接相談実績の延べ件数は332件。継続支援終了者(延べ人数)は57人、居場所でのユースアドバイザー(YA)との関わりは2,130回であった。若者の複雑・困難な課題解決、リファ(外へのつなぎ)を行うとともに、居場所ではYAが利用者に寄り添うことで若者の成長や自立につながった。また、高校生活に困難をかかえている生徒への支援を行う「いがた若者自立応援ネット」の運営を確実にを行い、社会的自立・職業的自立を図った。

○青少年関係団体の育成及び活動への支援その①として、わたしの主張新潟市地区大会を開催し、市内24団体(18中学校+6地区育成協議会)1,689名の応募の中から12名(内1名は当日欠場)の発表を行い、中学生は自ら健康な心身づくりに努めること、市民は中学生への理解や関心を深めることに寄与した。

○団体への活動支援その②として、それぞれが行う非行・被害防止活動へ啓発用グッズ(うちわ, チラン)を提供したり、活動へ参加したりすることで、参加者の意識が高まり、活動の輪が広がるとともに、市民の認知度も高まった。

○青少年の健全育成・非行防止について、37名の青少年育成員が、繁華街を中心に8月末まで88回の街頭育成活動を実施した。また、学警連と連携して、夏季休業中にイオン南店の巡視を4回実施した。集約した情報を各地区学警連や中高生徒指導主事連絡会に提供する等、各機関との連携を推進した。青少年育成員に対して、8月末までにリーダー会議2回、研修会1回を実施し、資質の向上及び情報の共有を図った。

○7月に実施した社会環境実態調査では、調査員延べ171名が市内全域の店舗・コンビニなどを回り、有害図書類等の調査を行った。この結果を基に、有害環境の把握・改善に努めた。

○7月の非行・被害防止キャンペーンでは、「万引きの防止」「インターネットの正しい利用」の標語・ポスターを募集し、市内小中学生から500点を超える応募があった。7月8日(日)の非行・被害防止街頭キャンペーンには、関係団体の大人・子ども合わせて約200名が参加し、新潟駅や万代シテイ周辺で啓発うちわを配布する等、非行・被害防止に向けた意識を高め、市民に向けた啓発を充実させた。

○学校が休みになる土日や夏休みなどの長期休業期間に、家庭や学校ではできない集団活動やキャンプなどの野外活動、ものづくりなどの体験活動事業を実施し、子どもたちの健全育成を図ると同時に、異年齢や異なる学校の子どもの仲間づくりを推進した。また、公民館に家庭や学校以外に子ども達の居場所を開設し、安全で安心して過ごせる場所を提供した。

●30年度の下半期の取組に向けて

○若者支援センター(オール)での相談・居場所・事業の3本柱の充実を図り、支援を行い、困難な状況を有する若者の課題解決、成長及び自立を図る。また、若者支援者養成講座を開催し、若者の自立支援や青少年の健全育成に必要な知識やスキルを身に付けた人材を育成していく。

○今年度は県と市の共催で開催するわたしの主張県大会、年に1度開催する研修会、2年ぶりに開催する青少年健全育成講演会等の活動支援で、青少年の健全育成を進め、関係者の共通理解と育成意欲の向上を図る。

○青少年の健全育成については、引き続き青少年育成員による街頭育成活動を実施する。また、育成活動の充実や市民への啓発の観点から、各地区育成協との合同育成活動や市民向け体験育成活動を企画・実施する。

○社会環境実態調査において明らかとなった結果を分析・考察し、ホームページなどで公表する。

○自然体験や生活体験が希薄な子どもたちに、土日や長期休業期間に体験活動事業を実施し、子どもたちの健全育成を図る。また、年間を通して公民館で子ども達が安全で安心して過ごせる場所を提供する。

●推進委員からの意見・要望等

○ 先程、引きこもりについて話があったが、その場合、どのように相談を行うのか。
⇒ あくまでの推測であるが、国の数値から割り出すと5,000人となる。若年無業者あるいは引きこもり、自立できない若者の相談を行っているが、その主な相談内容は「働くことが困難である」「他者とのコミュニケーションができない」「家族以外の人と関われない」などです。

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	伝統文化の体験学習事業の参加者数(人)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000		
進捗状況	5,081	6,663	6,509	6,101				
指標2							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 伝統文化の体験学習	
H30事業計画	H30事業成果
○地域の伝統・文化の体験と次世代への継承	
当初予算額	1,448 千円
決算額	千円
構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,725 千円	H27	1,678 千円
H28	1,798 千円	H28	1,266 千円
H29	1,803 千円	H29	1,180 千円
H30	1,448 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	6,774 千円	合 計	4,124 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○新潟漆器の絵付けや、南区の大凧合戦など地域の伝統や文化を体験することにより、子どもたちに伝統文化の素晴らしさを継承することの大切さを知ってもらう機会とした。

●30年度の下半期の取組に向けて

○引き続き、地域や日本の伝統や文化を体験することにより、子どもたちに伝統文化の素晴らしさを継承することの大切さについて理解してもらう。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	新潟市生活・学習意識調査(小6)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		75.0	75.0	82.0	80.0			
進捗状況	74.5	73.8	81.1	78.2				
指標2	新潟市生活・学習意識調査(中3)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した生徒の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56.5	56.5	57.0	61.0			
進捗状況	56.0	54.6	56.7	60.6				
指標3							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 外国語指導助手(ALT)配置事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○市立全小・中・高・中等教育学校へのALTの配置 ○ALTの資質向上に向け定例研修会を実施		
当初予算額	44,822 千円	決算額 千円
構成事業2 国際交流推進事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○受入: 中国ハルビン市 児童10名・引率者4名 韓国ウルサン広域市 児童10名・引率者3名 ○派遣: ロシアハバロフスク市・ピロビジャン市 児童生徒16名・引率者3名		
当初予算額	2,151 千円	決算額 千円
構成事業3 外国語教育支援事業【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○小中高連携をテーマにした公開授業の実施 ○生徒, 教員の英語力向上を目指した外部試験受検補助 ○外国語教育マネジメント研修の実施		
当初予算額	1,792 千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	51,712 千円	H27	72,736 千円
H28	65,240 千円	H28	63,893 千円
H29	49,558 千円	H29	49,011 千円
H30	48,765 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	215,275 千円	合 計	185,640 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○ALTが互いに取組を紹介し合ったり、アドバイスし合ったりすることができるように、小グループを組織し、毎月のALT研修会の質的充実を図った。

○ロシア派遣が終了し、青少年使節団全員が「満足している」、「国際交流に対する意識が高まった」と回答している。また、使節団の保護者全員が本事業について「満足している」と回答した。

○小中高各校の研究授業に際し、事前検討からかかわることで、成果と課題を教育委員会と現場で共有することができた。また、その成果と課題を小学校における『新学習指導要領』対応研修と中学校における授業づくり研修会において紹介し、小中連携の視点を指導することができた。

●30年度の下半期の取組に向けて

○各校で日本人教師とのTTの様子をビデオに録画し、ALT研修会においてグループで視聴し、意見交流を図る活動を行うことを計画している。これにより、ALTがより主体的に授業づくりにかかわる姿勢を醸成したい。

○中国ハルビン市と韓国ウルサン広域市から青少年使節団を受け入れ、市内小中学校で学校訪問や国際子どもフォーラムを開催し、国際交流の輪をさらに広げていく。

○ロシア派遣の報告書を11月中旬に市内各校に送付し、国際交流の素晴らしさを周知できるようにする。

○11月に各校で研究会が予定されている。また12月にはその成果と課題を市立小、中、高等学校の英語科主任に伝える。これらの取組を通して、小中高の連携を深めていきたい。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学び合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した小学校教職員の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標		66.6	66.6	70.0	90.0	70.0			
進捗状況	65.7	60.3	98.0	100.0					
指標2		コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学び合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した中学校教職員の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標		51.0	51.0	55.0	55.0	55.0			
進捗状況	50.0	50.0	97.0	98.2					
指標3		「アクティブ・ラーニング」の実施した学校の割合(%)						H30評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0				
進捗状況	92.0	95.0	100.0	100.0	100.0		4	100.0%	
指標4								H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									
指標5								H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									
指標6								H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									
指標7								H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									
指標8								H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1「タブレット等ICT活用研修(教職員研修)【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○ICT機器を授業で活用するための研修 ○教職員の指導スキルの向上研修 ○ICT新規導入校への説明会 ○教材の更新		
当初予算額	0千円	決算額
		千円
構成事業2「アクティブ・ラーニング」による教育活動の推進(再掲)【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○年間2回実施される研究主任会での支援 ○計画訪問, 要請訪問での具体的支援		
当初予算額	0千円	決算額
		千円
構成事業3		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額
		千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額
		千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額
		千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額
		千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	0 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	0 千円	合計	0 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○ICT活用研修会の実施

○アクティブ・ラーニングについては、研究主任の研修や学校訪問にかかわって、各校で重点化を図ることができるように働き掛けてきた。各校において主体的・対話的で深い学びを目指し、学校の実態に応じて重点化した研修の取組が推進され、授業改善に活かされている。

●30年度の下半期の取組に向けて

○PC入れ替え操作説明会の実施

○新学習指導要領の趣旨を踏まえ、各教科の特質に応じ、学びの過程全体を見渡した単元や題材などの構成や場面に応じた指導方法について、研修会や学校訪問での支援を継続し、アクティブ・ラーニングの質的向上を図る。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	ESDを自校の教育活動に位置付けている学校の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	/	20.0	50.0	80.0	85.0	100.0		
進捗状況	-	42.5	72.0	85.0				
指標2	教育委員会から、各校に向けて環境教育に関する実践的な取組を広報する(回)						H30評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	/	1	1	1	1			
進捗状況	1	1	1	1				
指標3	環境教育事業の実施						H30評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	/	実施	実施	実施	実施			
進捗状況	-	実施	実施	実施				
指標4	太陽光発電及び蓄電池設備の設置校(累計)						H30評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	/	11	16	19	20			
進捗状況	7	12	18	20				
指標5	停電時、非常電源としての実地体験(回)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	/	5	5	5	5	5		
進捗状況	-	5	5	5				
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	/							
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度、中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業(再掲)【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○持続可能な開発のための教育の啓発 ○学校訪問を通じた助言・指導		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業2 環境学習の充実		
H30事業計画	H30事業成果	
○環境学習への支援 ○環境学習発表会		
当初予算額	1,200千円	決算額 千円
構成事業3 環境教育事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○地域住民向け環境教育事業や子ども向け環境教育事業の実施		
当初予算額	188千円	決算額 千円
構成事業4 学校施設エコスクール化推進事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○5校で施設の実地体験実施		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	115,821 千円	H27	95,399 千円
H28	126,904 千円	H28	122,407 千円
H29	51,783 千円	H29	47,145 千円
H30	1,388 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	295,896 千円	合 計	264,951 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の上半期の取組に対する評価

○上半期は、学校訪問を通じて主体的・対話的で深い学びのある授業を推進するよう働き掛けてきた。その結果、教職員一人一人に「アクティブ・ラーニング」を進めることで社会の変化や課題に適切に対応できる力を育むことができるという意識を高めることができた。また、ようやく、ESD(持続可能な開発のための教育)の概念が各教職員に浸透してきている。

○環境教育の一層の推進を図るため、小・中学校に「地域の特色を活かした環境学習支援事業」の案内・募集を行い、希望校3校(南中野山小、鎧郷小、早通小)指定校9校(笹山小、竹尾小、上所小、亀田西小、金津小、庄瀬小、笠木小、山田小、岩室小)が事業推進している。また、県が行っている水俣病発生地域間交流事業の依頼を受けて、2校(竹尾小、岩室小)を推薦し、水俣市を中心とした現地学習を行った。その結果、各学校で身近な環境と水俣病との関連に気付き、環境問題を自分たちの問題としてとらえ、子どもたちの意識が高まった。

○子どもたちが、緑豊かな環境の中で、自然とかかわり合う体験をおして学ぶことができるよう「環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業」の案内・募集を行い、8校(豊栄南小、南中野山小、関屋小、有明台小、曾野木小、早通小、西内野小、赤塚中)が事業を推進している。その結果、対象校の敷地内緑化が進み、子どもたちが自然とかかわり合う体験をおして学ぶことができるようになってきた。

○地域住民に向けた自然観察会やクリーン作戦などの環境美化行事を開催することで、身近な自然や環境を実感し、考える機会とした。

○太陽光発電及び蓄電池設備が設置されている施設での関係者の実地体験研修に着手した。

● 30年度の下半期の取組に向けて

○さらに学校訪問等を通じて、主体的・対話的で深い学びのある授業を推進するよう働き掛けていく。また、広報等でもESD(持続可能な開発のための教育)の概念の理解を広め、他課(環境政策課)とも連携を図りながら進めていく。

○今年度の「地域の特色を活かした環境学習支援事業」推進校を指導、支援するとともに、次年度のモデル校指定に向けて、新規モデル校の指定を働き掛けていく。

○「環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業」の各実践校からの報告書を回収し、次年度への取組に活用する。

○地域住民に向けた環境事業を実施するとともに、学校と連携した環境学習会や地域全体での環境美化運動に取り組み、身近な環境や自然を考える機会を提供する。

○太陽光発電及び蓄電池設備の実地体験研修を確実に実施する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	日本語指導協力者の指導により、日常会話ができるようになった子どもの割合(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		85.0	85.0	85.0	85.0	85.0		
進捗状況	85.0	81.8	82.1	85.0				
指標2							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 <small>日本語指導協力者派遣事業 外国人児童生徒への支援体制の整備【新規】</small>			
H30事業計画		H30事業成果	
○日本語指導協力者の派遣 ○母語が分かる支援者の派遣 ○協力者連絡会, 研修会の実施			
当初予算額	2,114 千円	決算額	千円
構成事業2		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業3		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,429 千円	H27	2,042 千円
H28	2,142 千円	H28	2,095 千円
H29	2,142 千円	H29	2,107 千円
H30	2,114 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	7,827 千円	合 計	6,244 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○各校から要請のあった児童生徒32名(24校1園)に対して、延べ29名の日本語指導協力者を派遣している。派遣回数は、児童生徒の日本語能力の実態及び、予算から算出できる派遣可能な回数内で調整している。母語が分かる協力員の派遣も継続して行っている。

○日本語指導協力員の継続的な派遣により、日本語の上達だけでなく、対象児童生徒が学校生活にスムーズに適応でき、生活全般の落ち着きにつながっているという事例が報告されている。

○帰国・外国人児童生徒の増加が見込まれることから、関係課と情報共有を行い、今後も連携していくことを確認した。

●30年度の下半期の取組に向けて

○今後も日本語指導協力者の派遣が円滑に行われるよう事業を実施する。

○日本語指導の新規要請には、速やかに対応する。

○加配教諭の効果的な活用も含め、事業が円滑に推進されるよう、体制整備に努める。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	各年度内に特別支援教育に関する公的研修を受講した教員(幼・小・中・高)(人)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500		
進捗状況	1,500	1,616	1,585	1,749				
指標2							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 インクルーシブ教育システム構築の推進事業【新規】			
H30事業計画		H30事業成果	
○管理職研修, 合理的配慮セミナーを3講座開催 ○特別支援学級の新設 ○必要に応じて特別支援教育支援員及び学校看護師を配置			
当初予算額	484,232 千円	決算額	千円
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	324,598 千円	H27	456,801 千円
H28	377,487 千円	H28	425,797 千円
H29	405,454 千円	H29	462,193 千円
H30	484,232 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	1,591,771 千円	合計	1,344,791 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○特別支援教育管理職研修を6/27に実施。合理的配慮セミナーⅠを8/21に実施。管理職、生徒指導主任・生活指導主事などへの障がいのある子どもへの「合理的配慮」についての研修会を実施し、全校体制で支援ニーズのある子どもへの「合理的配慮」のあり方について研修を行うことができた。

○明鏡高等学校の通級指導教室を開始した。

○支援を配置基準に従って配置。学校看護師は、対象の児童5名に対して学校看護師を配置。支援ニーズに応じた人的な支援を充実することができた。

●30年度の下半期の取組に向けて

○上半期に続き、合理的配慮セミナーを2回実施(9/26, 10/1)。管理職、生徒指導主任・生活指導主事だけではなく、教務主任・特別支援教育コーディネーターを対象とする研修会を実施し、障がいのある子どもへの「合理的配慮」についての支援が充実するようにする。

○明鏡高等学校の通級指導教室の運営について、評価を行い、より生徒への支援が充実するように努める。

○人的支援について、必要に応じて配置状況などを確認し、人的な支援が一層充実するようにする。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1 合理的配慮のデータベース件数(累計)							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	40	45	60	75	90	100		
進捗状況	40	49	63	82				

指標2							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 特別支援教育サポートネットワーク事業	
H30事業計画	H30事業成果
○特別支援教育ボランティアの募集と配置 ○大学教員を講師とした公開講座を開催	
当初予算額 635 千円	決算額 千円

構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	8,320 千円	H27	10,578 千円
H28	1,120 千円	H28	1,105 千円
H29	980 千円	H29	982 千円
H30	635 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	11,055 千円	合 計	12,665 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

- サポートセンターによる学校支援の件数は167件。サポートネットワークが機能していて、学校が専門家の指導助言が受けられる状態にある。
- 特別支援教育ボランティアの登録は、新規登録者3名。159名の登録になった。ボランティアの活用状況は延べ161日。児童生徒の支援の充実の素地が整ってきている。
- 合理的配慮のデータベースについては、調査をかけ集計中である。

●30年度の下半期の取組に向けて

- サポートセンターによる学校支援の件数は、今後継続ケースもあるので、引き続きサポートネットワークを機能させて学校の支援に当たり、児童生徒に「合理的配慮」が提供できるように努める。
- 特別支援教育ボランティアの登録については、引き続き呼び掛けを行い、児童生徒の支援に備える環境整備を行う。
- 合理的配慮のデータベースについては、データの蓄積を充実させ、要請訪問、研修会の際に紹介できるような準備を整える。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	入学支援ファイルの活用件数(年度ごとの数)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		300	350	310	350			
進捗状況	280	331	315	362				
指標2							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 早期からの就学支援の推進【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○年間を通じた保護者相談の実施 ○幼稚園・保育園等と連携した「入学支援ファイル」の作成とスムーズな就学支援の実施		
当初予算額	396 千円	決算額 千円
構成事業2		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	396 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	396 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

- 各区の教育支援センターの就学支援教育担当指導主事が、就学相談の窓口となり、日常的に来所相談や電話での相談に対応した。また、随時幼稚園・保育園を訪問し、就学児の様子について情報を共有できるよう連携している。
- 2019年度就学予定児を対象にした「春季就学相談会」を各区ごとに5月に実施し、267名の参加があった。また、児童発達支援センター「こころん」と連携し、就学児の情報提供に努めた。「夏季就学相談会」は、区ごとに7月下旬から8月上旬にかけて実施し、276名の参加があった。
- 就学前の保護者・幼児教育・保育・療育・相談機関からの願いと支援情報を学校に引き継ぐための連携ツールである「入学支援ファイル」を相談に来られた保護者に説明し、配付した。
- 「入学支援ファイル」活用状況調査において、新入生の「入学支援ファイル」の提出数は446人であり、全新生の6.9%が提出している。提出数及び提出率ともに年々増加している。特別支援学級在籍者の提出率は91%と、こちらも年々増加している。
- 年度初めに市内全小学校に「入学支援ファイル」の目的や活用について案内し、就学支援のスケジュール、目的について周知を図った。

●30年度の下半期の取組に向けて

- 秋の相談会において保護者へ情報提供、就学支援を行う。
- 就学児対象の12月の就学支援委員会にむけて「入学支援ファイル」を基に、区教育支援センター担当主事と連携しながら判断資料の準備を進めていく。
- 区教育支援センターと連携し、保護者の意向を尊重しながら、就学児の学びの場を決定し、入学指定通知発送作業を進める。
- 各区の教育支援センター就学支援教育担当指導主事が、相談会参加保護者に対し、必要に応じて、継続的に就学相談を行っていく。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	新潟市一貫教育推進協議会(回)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		発足	3	2	2			
進捗状況	-	発足	3	2				
指標2	新規パイロット事業実施中学校区数(延べ数)→H29～新潟市にふさわしい小中一貫した教育に取り組んだ中学校区数(延べ数)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		-	4	8	24	40		
進捗状況	-	-	4	8				
指標3	学び方等、共通の取組を設定した中学校(校区数)						H30評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56	56	56	56	56		
進捗状況	-	55	56	56				
指標4	0						H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況	-							
指標5	H26						H30評価	
	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								
指標6	H26						H30評価	
	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								
指標7	H26						H30評価	
	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								
指標8	H26						H30評価	
	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 小中一貫教育パイロット事業【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○小中一貫教育普及のための資料作成 ○接続カリキュラムの検討及び周知のための取組 ○児童生徒の学習及び生活に関する情報交換 ○中学校区単位の授業・諸活動の交流事業推進		
当初予算額	301 千円	決算額 千円
構成事業2 学校間連携推進事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○児童生徒の学習及び生活に関する情報交換 ○中学校区単位の授業・諸活動の交流事業推進		
当初予算額	0 千円	決算額 千円
構成事業3		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	114 千円	H27	128 千円
H28	261 千円	H28	187 千円
H29	237 千円	H29	223 千円
H30	301 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	913 千円	合 計	538 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○小中一貫教育部会では、「新潟市にふさわしい小中一貫した教育の基本的な考え方」や「Q&A」等、事業に関する共通理解を促すための資料を作成するとともに、資料を基に、各パイロット校の取組を見直すことができた。

○幼保小連携部会では、新潟市版アプローチカリキュラムを完成させ、カリキュラム自園化の方法について明確にした。普及に向けた準備が整ってきている。

○小中学校において、学習の仕方に関しての情報交換が進み、「学習課題とまとめ」「振り返り」のある授業が浸透している。中学校が小学校の家庭学習の取組を参考にして同様の取組をするなど、小中のつながりを意識した取組が見られるようになった。

●30年度の下半期の取組に向けて

○パイロット校の実践を基に、取組の手引きとなる改訂リーフレットを作成し、新潟市にふさわしい小中一貫した教育を普及するための準備を進める。

○新潟市版スタートカリキュラムの策定を進める。

○二つの園で公開保育を実施し、新潟市版アプローチカリキュラムの周知を図る。

○学校訪問時に小中一貫した取組の事例について紹介するなどして、「9年間を見通した学び」を推進する。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	幼稚園・保育園との連携の充実を図り、小学校への円滑な接続を図るための教育懇談会を実施した小学校の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		10.0	95.0	100.0	100.0	100.0		
進捗状況	-	90.0	100.0	100.0				
指標2	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている小学校の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		10.0	40.0	70.0	70.0	70.0		
進捗状況	-	30.0	72.0	72.0				
指標3	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている市立幼稚園の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		27.3	90.0	100.0	100.0	100.0		
進捗状況	-	81.2	100.0	100.0				
指標4	隣接する小学校区における、幼稚園、保育園、小学校等の職員を交えた研究保育を年間複数回実施した市立幼稚園の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		18.1	63.6	90.0	90.0	90.9		
進捗状況	-	54.5	90.0	90.0				
指標5							H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 幼保小連携推進事業【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○幼保小連携の推進を図るための情報交換会の実施 ○幼・保と小学校との円滑な接続を見通した教育課程の検討・編成		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業2 幼保小合同研修会【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○幼保小合同研修会の実施 ○市立幼稚園教育研究協議会の後援		
当初予算額	60千円	決算額 千円
構成事業3		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	42 千円	H27	72 千円
H28	87 千円	H28	81 千円
H29	81 千円	H29	81 千円
H30	60 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	270 千円	合 計	234 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○保育園・私立幼稚園・こども園の研修会と市立幼稚園の研究保育・研修会が相互に案内され、参加することにより、幼保等の連携が図られた。

○市立幼稚園教育研究協議会や市立幼稚園教頭・主任会の研修会において、アプローチ・カリキュラム作成及び幼保連携について指導・助言したことにより、幼小連携、幼保連携が図られた。

●30年度の下半期の取組に向けて

○保育園・私立幼稚園・こども園の研修会と市立幼稚園の研究保育・研修会を相互に案内し合い、互いに参加することにより幼・保等の連携を図る。

○保幼小合同研修会として、10月に合理的配慮セミナー、1月に市立西幼稚園を会場とした研修を実施し、幼保小連携の更なる推進を図る。

○保育園・幼稚園・こども園と小学校で、入学に当たっての情報交換を進める。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	外部講師による人権教育、同和教育に関する校内研修を実施した学校数(校:累計)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		85	110	135	160	185		
進捗状況	61	135	213	271				
指標2	小学校で男女平等教育学習資料を活用している学校の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
進捗状況	96.0	98.2	100.0	100.0				
指標3	中学校で男女平等教育学習資料を活用している学校の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		90.0	90.0	100.0	100.0	100.0		
進捗状況	85.0	84.2	100.0	96.4				
指標4	公民館の人権教育事業の参加者数(人)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		3,200	3,200	3,200	3,200	3,200		
進捗状況	3,341	3,148	3,331	3,791				
指標5	人権教育研修会の参加者満足度(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	4	89.7%
進捗状況	71.5	95.0	93.0	97.0	87.0			
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 人権教育、同和教育の推進		
H30事業計画	H30事業成果	
○人権教育、同和教育に関する研修会, 外部講師派遣事業による支援の実施		
当初予算額	76千円	決算額 千円
構成事業2 男女平等教育の推進		
H30事業計画	H30事業成果	
○男女平等教育推進協議会の開催 ○児童生徒用男女平等教育学習資料をデータで配付		
当初予算額	20千円	決算額 千円
構成事業3 公民館の人権教育		
H30事業計画	H30事業成果	
○女性セミナーや障がい者理解などの人権に関する講座や家庭教育学級における人権講座の開催		
当初予算額	773千円	決算額 千円
構成事業4 新潟市人権教育研修会		
H30事業計画	H30事業成果	
○人権教育研修会の開催(1回)		
当初予算額	27千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,945 千円	H27	1,344 千円
H28	1,055 千円	H28	863 千円
H29	867 千円	H29	937 千円
H30	896 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	4,763 千円	合 計	3,144 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

- 人権教育, 同和教育校内研修会外部講師派遣事業は, 8校分予算(講師謝金負担)のうち7校で事業を実施し, 研修の充実が図られた。
- 人権教育, 同和教育中学校区要請研修会を20中学校区で実施し, 研修の充実が図られた。
- 学校支援課からの新発田隣保館での人権教育, 同和教育研修の案内により, 6校が校内研修として現地学習を行い, 差別の現実から深く学び, 部落差別・同和問題についての理解と認識が深まった。
- 各校・園管理職対象の悉皆研修を, 7月3日の新潟市人権教育研修会(生涯学習センター主催)と7月31日の新潟県同和教育研究集会佐渡市大会(新潟県同和教育研究協議会主催, 参加対象奇数学番校)で実施し, 管理職等の人権問題や同和問題についての理解と認識が深まった。
- 7月に男女平等教育学習資料をデータで配付した。データをCDに入れ, 市内の小中学校, 中等教育学校, 特別支援学校に配付し, 活用を促した。
- 7月には, 男女平等教育推進研究会を実施し, 男女平等教育学習資料の活用の様子と来年度の資料改訂に向けた話し合いを行った。委員として12名が参加した。男性, 女性の割合は半分ずつである。
- 男女共同参画を考える女性セミナーや障がい者の理解や人権を考える講座を実施するなど, 人権意識の啓発を図った。
- 人権教育研修会(新発田市同和教育推進協議会 会長 駒澤 一彦氏による講演「部落差別・部落問題に本気で取り組むために」)を開催し, 361名の参加があった。この研修会を通して同和問題への理解や関心が深まった。

●30年度の下半期の取組に向けて

- 人権教育, 同和教育校内研修会外部講師派遣事業を実施し, 研修の充実を図っていく。
- 11月に人権教育, 同和教育担当者研修会を実施し, 各校での推進を図れるようにしていく。
- 第1回目の男女平等教育推進研究会で男女平等教育学習資料の保護者への啓発が100%にならないことが話題になった。年度末のアンケート実施を各学校に伝え, 活用率100%を維持するとともに, 保護者への啓発を意識付ける。
- 1月に第2回の男女平等教育研究協議会を開催し, 今年度の成果と課題を明確にする。
- 来年度に向けて, 男女平等教育学習資料の見直しを行う。
- 引き続き, 女性や子ども, 障がい者等の人権について考える講座や講演会を実施し, 市民の人権意識が高まるように啓発を進める

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	世代間交流事業の参加者数(人)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400		
進捗状況	22,459	23,654	23,360	22,525				

指標2							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 地区別世代間交流事業	
H30事業計画	H30事業成果
○地域で実施しているイベントやスポーツ大会を通じて, 世代間交流を進める支援	
当初予算額	1,503 千円
決算額	千円

構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	861 千円	H27	1,049 千円
H28	1,007 千円	H28	1,500 千円
H29	1,442 千円	H29	1,655 千円
H30	1,503 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	4,813 千円	合 計	4,204 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○地域団体と連携して、様々な地域イベントやスポーツ大会を開催することで、世代間交流を促した。

●30年度の下半期の取組に向けて

○引き続き、各地域でのイベントやスポーツ大会を通じて、世代間交流を促し地域住民同士の交流促進を支援していく。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	子育て学習出前講座(小学校)の実施率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		90.2	90.2	90.2	90.2	90.2		
進捗状況	90.2	94.5	94.4	94.4				
指標2	子育て学習出前講座(中学校)の実施率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		26.3	26.3	28.0	28.0	29.8		
進捗状況	24.5	24.5	28.1	36.8				
指標3	家庭教育学級数(講座)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		63	64	68	69	69		
進捗状況	63	68	68	66				
指標4							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1 家庭教育振興事業		
H30事業計画		H30事業成果
○出産前から子どもの成長期に合わせた家庭教育学級の実施 ○朝ごはん料理講習会の実施 ○子育て学習の出前講座の実施(小・中学校)		
当初予算額	10,660 千円	決算額 千円
構成事業2		
H30事業計画		H30事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
H30事業計画		H30事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画		H30事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画		H30事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画		H30事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	12,100 千円	H27	11,558 千円
H28	11,399 千円	H28	10,827 千円
H29	12,063 千円	H29	11,393 千円
H30	10,660 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	46,222 千円	合 計	33,778 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の上半期の取組に対する評価

○ 出産前の妊婦を対象としたプレママ学級や乳児期から思春期まで子どもの成長期に合わせた家庭教育学級や父親学級を実施することにより、子育ての知識や情報、親としての関わり方などを学ぶ機会を提供し、家庭教育の充実を図った。また、家庭教育学級の中に土日の開催も取り入れることで、パートナーと一緒に参加してもらい、夫婦で子育ての意識を共有することができた。

○ 子どもたちが健やかに成長していくために必要な基本的生活習慣の確立や生活リズムの向上を図るため、おはよう朝ごはん料理講習会を24コミュニティ協議会と協働で実施した。

○ 小中学校と連携して、就学時健診や新入学校説明会など保護者が集まる機会に、家庭教育の大切さやインターネット・SNSの利用についての講演を行う「子育て学習出前講座」の実施を呼びかけた。

● 30年度の下半期の取組に向けて

○ 引き続き、子どもの成長期に合わせた家庭教育学級を開催するとともに、夫婦で参加し子育ての意識を共有できるような機会を提供していく。また、ひとり親家庭など様々な生活環境にある保護者も参加しやすいように開催曜日や時間を考慮して講座を開催していく。

○ 規則正しい生活リズムや朝ごはんの大切さを啓発していくため、早寝早起き朝ごはん推進事業に関連した事業を、地域や諸団体と連携しながら実施していく。

○ 小中学校と連携して、就学時健診や新入学校説明会などが開催される機会に、子育て学習出前講座を開催し、家庭教育の意識啓発を図る。

● 推進委員からの意見・要望等

○ 家庭教育の充実と子育て支援について、公民館の家庭教育学級は他では取り組めない大切な事業である。親としての価値観やあり方を問い直す場でもあり、今の親の現状や社会の現状などを精査して、力を注いでほしい。
⇒ 家庭教育学級は、子どものこと、親自身のことを考える大切な事業であると考えている。教育機関としてのあり方や立ち位置を大切に、今後の事業を進めていきたい。

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	子育てフリースペースの開設(か所数)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		13	14	14	15	15		
進捗状況	15	16	18	18				
指標2	保育者研修会の出席率(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		90.0	90.0	90.0	90.0			
進捗状況	90.0	92.8	92.6	83.0				
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 子育て支援事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○子育て支援事業(講演会, 親子遊びなど) ○子育てフリースペースの開設 ○保育者研修会の実施		
当初予算額	1,174 千円	決算額 千円
構成事業2		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	873 千円	H27	934 千円
H28	846 千円	H28	759 千円
H29	1,059 千円	H29	1,121 千円
H30	1,174 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	3,952 千円	合 計	2,814 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○子育てフリースペースを開設して、子育て中の保護者同士の交流の場を提供し、絵本の読み聞かせや親子遊びを実施することで、子育て中の保護者の支援を行い、子どもの社会性を学ぶ機会とした。

●30年度の下半期の取組に向けて

○子育て中の保護者を対象に、フリースペースを開催し、親子遊びなどの様々な子育てに関するイベントを実施する。

○家庭教育学級等で学習を支える保育者の資質向上を図る目的で、保育者研修会を実施し、子育て中の親を支援する。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		生涯学習相談件数(件)					H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		300	310	320	330	340		
進捗状況	297	296	307	326				

指標2							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学習情報の収集・提供・相談事業	
H30事業計画	H30事業成果
○生涯学習情報提供システムの運営 ○学習情報の収集・提供及び学習相談 ○生涯学習相談ボランティア養成講座 ○パソコン初心者向け講習会	
当初予算額 203 千円	決算額 千円

構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	115 千円	H27	104 千円
H28	100 千円	H28	101 千円
H29	269 千円	H29	288 千円
H30	203 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	687 千円	合 計	493 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

◎市民の多様な生涯学習活動を支援するため、「研修・講演 講師紹介ガイド」による人材・講師情報の提供を行った。

◎生涯学習に関する豊かな知識や経験、優れた技能を有する地域の人材の有効活用を図るとともに、市民の学習活動の成果を地域社会に還元するためボランティアバンクを設置し、登録されたボランティアの派遣を実施した。

◎市民の学習活動に関する相談に応じるため、生涯学習相談ボランティアによる学習情報の収集・提供及び学習相談を実施した。

◎生涯学習相談に役立てるため、生涯学習相談ボランティアの研修会を実施した。

◎パソコン指導ボランティアによるパソコン初心者向け講習会を実施し、市民の主体的な学習を支援した。

●30年度の下半期の取組に向けて

◎市民の生涯学習活動を支援するため、引き続き「研修・講演 講師紹介ガイド」による人材・講師情報の提供を行う。

◎生涯学習ボランティアバンクの周知をホームページ等を通じて行うほか、登録者による自主企画講座を実施し、登録者の活躍の場の創出と学習機会の提供を行う。

◎生涯学習相談件数の増加を図るため、出前による相談を実施するほか、生涯学習相談ボランティア養成講座を実施し、学習相談体制の充実を図る。

◎引き続き、パソコン指導ボランティアや専門学校との協働によるパソコン初心者向け講習会を実施する。

◎生涯学習ボランティア活動に生かす技法を学習し、地域で活動する生涯学習ボランティアを養成する入門講座や、技量向上のためのフォローアップ講座を実施する。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	にいがた市民大学の受講率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0		
進捗状況	84.5	122.5	112.5	92.0				
指標2	現代的課題を学ぶ事業の実施						H30評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施	実施			
進捗状況	-	実施	実施	実施				
指標3	文化祭・芸能祭等の実施						H30評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施	実施			
進捗状況	-	実施	実施	実施				
指標4	児童書の貸出冊数(冊)(12歳以下の子ども1人あたり)						H30評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		12.2	12.4	13.2	13.1			
進捗状況	12.1	13.1	13.1	13.0				
指標5	レファレンス受付件数(件)						H30評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		72,000	72,800	90,000	99,000			
進捗状況	69,600	83,157	94,580	98,077				
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1にいがた市民大学開設事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○基本講座 4講座 ○大学コンソーシアム連携講座1講座		
当初予算額	5,380 千円	決算額 千円
構成事業2現代的課題を学ぶ公民館事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○青年対象事業, 環境に関する事業, 高齢者問題に関する事業, その他市民ニーズのある事業の実施		
当初予算額	2,005 千円	決算額 千円
構成事業3学習成果を発表する場の提供		
H30事業計画	H30事業成果	
○文化祭や芸能祭などの開催		
当初予算額	2,446 千円	決算額 千円
構成事業4子どもの読書環境の整備		
H30事業計画	H30事業成果	
○ブックスタート事業 ○乳幼児連れでも気兼ねなく図書館を利用できる「赤ちゃんタイム」の実施		
当初予算額	3,356 千円	決算額 千円
構成事業5子どもが読書に親しむ機会の充実		
H30事業計画	H30事業成果	
○子ども・親子を対象とした各種事業 ○「うちどくブックリスト」の作成など, うちどく(家読)推進のための各種事業		
当初予算額	490 千円	決算額 千円
構成事業6仕事やくらしの課題解決のための情報提供事業【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○ビジネス支援セミナー ○起業・経営相談会 ○ビジネス融資相談会 ○くらしの情報講座 ○行政書士無料相談会		
当初予算額	1,134 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	18,819 千円	H27	16,964 千円
H28	21,859 千円	H28	16,197 千円
H29	16,810 千円	H29	15,653 千円
H30	13,677 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	71,165 千円	合 計	48,814 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○にいがた市民大学では、前期講座で講義形式により大学コンソーシアム連携講座を実施したり、市民ニーズを講座企画に盛り込んだりする等、時代や社会の要請に応えた専門性の高い講座を合計5講座開設し、市民の学習要求に応えた。

○高齢者の健康や生きがいがづくり、退職を控えた世代に地域社会参加への支援事業など、市民ニーズに沿った学習機会を提供した。

◎「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づく事業の実施
 ・ブックスタート事業を継続実施し、家庭での読み聞かせの大切さを伝えるとともに、親子のコミュニケーションづくりのきっかけになるよう働きかけた。また、図書館利用の案内をすることで、子どもへの読み聞かせの支援に図書館を活用するよう働きかけた(8月末現在で2,276人)。
 ・「赤ちゃんタイム」を全19館で実施し、子ども連れでも気軽に図書館が利用できるよう環境を整備した。
 ・「第3期子ども司書講座」を開催し、子どもたちが司書の仕事を体験することで、読書への関心を高めることができた(参加者10人)。その際、第1期～2期の参加者とも、本のPOP作りなどを通して交流することができた。

◎仕事やくらしの課題解決のための情報提供事業
 ・日本政策金融公庫の協力により、ビジネス融資相談会を行った(1回 8月末現在)。
 ・相続やエンディングノートなど、日常生活の課題解決に役立つ情報を提供するために、中央、新津、坂井輪、西川図書館で相談会を行った。(42人 8月末現在)

●30年度の下半期の取組に向けて

○にいがた市民大学では、後期講座で、現地学習・討論や製作などを取り入れた少人数のゼミナール形式で、1講座を実施する。学んだ成果を、レポート集としてまとめ、中央図書館等に配置するとともに更なる学びのために「自主グループ」結成の支援を行う。

○次世代を担う若者を対象に、仲間づくりや異業種交流を目的とした講座を開催し、個々のスキルアップと新しい人との出会いを支援するなど、市民ニーズに沿った学習機会を提供していく。また、公民館利用団体や地区の芸術や美術協会と協働して、文化祭・芸能祭など学習成果の発表の場を提供する。

◎「第二次子ども読書活動推進計画」に基づく事業の実施
 ・ブックスタートの実行委員会や事務局会議で、次年度以降に使用するブックスタートの配付絵本の選定を行う。
 ・秋の読書週間に、「第3期子ども司書講座」参加者の実践編(読み聞かせ)を行い、講座で学んだ成果を発表するとともに、読書の楽しさを伝える体験の機会とする。
 ・高校生向けの「うちどくブックリスト」を作成し、高校生の読書に対する興味関心を喚起する。

◎仕事やくらしの課題解決のための情報提供事業
 ・11月に新潟雇用労働センターと共催し、くらしの情報講座を開催する。
 ・新潟市産業振興財団との共催で、セミナーを開催する。
 ・新潟市産業振興財団の協力を得て、「起業・経営相談会」を実施し、図書館の情報を課題解決のために活用してもらえよう広く告知を行う。
 ・行政書士無料相談会は、継続実施する。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	公民館と連携事業を実施する地域コミュニティ協議会数(か所)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		45	46	52	52	53		
進捗状況	41	51	60	63				
指標2							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 地域課題解決への支援	
H30事業計画	H30事業成果
○地域コミュニティ協議会等地域団体と連携した地域課題の解決を支援する事業の実施	
当初予算額	3,900 千円
決算額	千円
構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4,952 千円	H27	3,908 千円
H28	4,758 千円	H28	3,929 千円
H29	5,174 千円	H29	4,470 千円
H30	3,900 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	18,784 千円	合 計	12,307 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○各地区において、地域団体等と連携して、高齢化や少子化社会に対応する事業、地域イベントを通じた学校と地域を結ぶ事業を実施した。また、地域住民が自ら地域課題を探り、解決できるよう支援する事業を実施した。

●30年度の下半期の取組に向けて

○地域の人材育成や絆づくりに取り組むとともに、コミュニティ・コーディネーター育成事業を引き続き開催していく。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

3期進捗平均

●成果指標

指標1	1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1,240	1,270	1,640	1,670	1,700		
進捗状況	1,210	1,531	1,611	1,664				
指標2	ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29～ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2.00	2.10	49	51	53		
進捗状況	1.93	1.97	2.02	49				
指標3	土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29～土曜プログラム活用校数(校)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4	4	20	24	27		
進捗状況	-	4	4	24				
指標4	公民館出前型事業の実施校数(校)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		66	67	94	103			
進捗状況	66	72	89	103				
指標5							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 地域と学校パートナーシップ事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○本事業にかかる3回の研修会の開催(第1・3回研修会は、コーディネーター・地域連携担当職員対象。第2回研修会は、新任校長対象) ○新任コーディネーター研修 ○区研修のための研修幹事会		
当初予算額	138,449 千円	決算額 千円
構成事業2 ふれあいスクール事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○土曜プログラムモデル校4校でプログラムの内容や実施方法を検討。実施結果を運営主任研修会で報告 ○各校の運営の工夫を研修会や運営委員会、通信で紹介		
当初予算額	31,555 千円	決算額 千円
構成事業3 公民館出前型事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○学校の余裕教室などを会場にして、地域住民を対象とした公民館事業の開催		
当初予算額	400 千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	189,987 千円	H27	184,359 千円
H28	187,454 千円	H28	190,188 千円
H29	182,387 千円	H29	178,105 千円
H30	170,404 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	730,232 千円	合 計	552,652 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

◎公民館出前型事業は、公民館と地域教育コーディネーターと協働しながら講座の企画と運営をし、地域団体と連携して防災講座や家庭教育講演会、夏休みを利用した体験講座などを実施した。

◎学校が地域に開かれ、地域と共に歩むことができるように、地域教育コーディネーターを市立の全ての小・中・中等教育・特別支援学校に配置し、社会教育施設や地域と連携・協働した教育活動を進め、児童生徒の学力向上、社会性の育成、自己肯定感の醸成を図った。

◎パートナーシップ事業研修会に公民館の学社民融合支援主事、図書館職員51名が参加して、地域教育コーディネーターとの情報交換を行い、地域教育コーディネーターと社会教育施設とのネットワークづくりを促した。また、地域教育コーディネーターのスキルアップのため、研修運営を担当する地域教育コーディネーターによる研修幹事会と区研修を実施した。
 ・第1回研修会(5月8日・14日・17日) 参加者527名(うち学社民融合支援主事38名、図書館職員13名)
 ・第2回研修会(8月8日) 新任校長対象 参加者30名
 ・第1回研修幹事会(7月2日) 各研修を各区とも8月までに1回以上実施した。

◎4月の学校マネジメント研修において、地域学校協働活動推進に関する研修を校長に対して行い、5月には地域連携担当職員に対する研修を行った。今後、校長と地域連携担当職員による教職員への指導・啓発が進み、学校を核とした地域との連携・協働が一層進むと期待される。

◎新任コーディネーターの事業理解とスキルアップを図るため、4月に新任コーディネーター研修を開催した。また、新任コーディネーターを支援するため、経験豊富な地域教育コーディネーターをアドバイザーコーディネーターとして各区に配置した。

◎学校の教育活動を地域に発信するため、地域と学校ウェルカム参観日を実施した。また、市報・区だより・HPを利用した広報を行った。
 ・地域と学校ウェルカム参観日をこれまでに5小中学校で開催(10月1日現在)
 ・市報や区だよりによりパートナーシップ事業やウェルカム参観日に関する記事を延べ24回掲載(9月10日現在)

◎ふれあいスクール事業は、30年度上半期67校で実施。また、ふれあいスクール運営主任の第1回研修会において、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や実技研修を行った。(6月実施 参加者200名、うち放課後児童クラブ支援員46名)

◎ふれあいスクールの土曜における体験活動や学習機会提供のためのプログラムを整備するため、モデル校4校を決定し、プログラムの内容や方法を検討している。

◎各校のふれあいスクールの活動時に訪問し、運営についての指導助言を行うとともに、スタッフへの感謝を伝えた。また、各校の運営上の工夫や、子どもに人気のある活動などについて、ふれあいスクールの研修会や各校の運営委員会、運営スタッフ向けの通信で紹介した。

●30年度の下半期の取組に向けて

◎公民館出前型事業では、地域に開かれた学校づくり・地域づくりを充実させるため、学校や地域教育コーディネーターや地域団体と連携して地域住民向けの事業を実施していく。

◎学社民融合支援主事と図書館職員が参加する事業研修会、研修幹事会、区研修を下半期も実施する。

◎地域との連携・協働を進める上での課題をテーマに、第3回地域と学校パートナーシップ事業研修会を実施する。

◎学校の教育活動を地域に発信するため、地域と学校ウェルカム参観日を継続する。

◎ふれあいスクールの各実施校の取組を一層充実させるために、運営主任や運営ボランティアを対象とした研修を進める。また、各校のふれあいスクールを訪問し、実施についての指導助言を行う。

◎地域の教育力を活かした子どもの豊かな体験や学びを培うことができるように、土曜プログラム検討会で内容や方法を検討改善することで、多くの学校に参考となるプログラムを作成していく。また、研修会や運営委員会等でプログラムの良さを紹介し、実施校の増加に努める。

●推進委員からの意見・要望等

○自治会の行事において、生徒の行事への参加をめぐり、「学校が、または自治会が参加者を募るのか」という意識の違いがあった。その際に、地域における行事の意義や学校における行事の意義など、考え方の違いを踏まえた共通認識とそれに伴う協働を考えていかなければならないと強く感じた。
 ⇒ パートナーシップ事業が始まり12年目を迎えた。「重点化と役割分担」をキーワードにして、学校が求めていることや地域が求めていることを互いに認識した上で役割分担を進め、「学・社・民の融合による教育」が素晴らしい取組であることを再確認してほしいと考えている。またそれにより、教職員の、地域教育コーディネーターの多忙化解消も図っていきたい。

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	区教育ミーティングの開催(回)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		16	16	16	16			
進捗状況	16	16	16	16				
指標2	中学校区教育ミーティングの実施回数(累計中学校区数)→H29～(中学校区数)						H30評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		32	56	28	28			
進捗状況	8	32	56	28				
指標3	にいがた共育通信(発行回数)						H30評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4	4	-	-	-		
進捗状況	4	4	4	-	-	-		
指標4	H29～にいがた共育通信を読んで「教育ビジョンの施策内容について理解できた」と回答した人の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		-	-	90.0	90.0			
進捗状況	-	-	-	88.9				
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 区教育ミーティングの開催(再掲)【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○各区年2回実施		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業2 中学校区教育ミーティングの開催(再掲)【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○市内28中学校区で実施		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業3 教育情報発信事業(再掲)		
H30事業計画	H30事業成果	
○新潟市HPを用いて, 情報発信を行う。 ○6月～平成31年2月まで, 毎月1回を目途とする。 ○学校教育や社会教育の取組とともに, 教育ビジョンの施策を紹介する。		
当初予算額	0千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額		決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,646 千円	H27	1,464 千円
H28	1,232 千円	H28	1,089 千円
H29	1,232 千円	H29	1,066 千円
H30	0 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	4,110 千円	合 計	3,619 千円

注：再掲事業分を含む

● 30年度の上半期の取組に対する評価

○区教育ミーティング
 ・上半期では、区教育ミーティングを各区1回実施した。
 ・区教育ミーティングでは、平成30年度の地域と共に進める主な施策について情報提供し、またフリーテーマでの意見交換を行った。地域と学校との関わりについての成果や課題、教員の多忙化解消問題、登下校の子どもたちの見守りなどについて、参加者と教育委員で活発な意見交換が行われた。

○中学校区教育ミーティング
 ・上半期では、中学校区教育ミーティングを12中学校区で実施した。
 ・中学校区教育ミーティングでは防災教育をテーマとし、学校単位で作成されている防災教育プログラムに沿った取組を紹介するとともに、防災教育について地域と連携した進め方を意見交換した。
 ・参加者にミーティングについてアンケートを実施し、ニーズや課題等の把握をした。

○新潟市ホームページによる「教育情報発信」を行った。
【6月 キラキラ新潟っ子応援団 No.1 第49号(平成30年6月13日)】
 ・授業のスペシャリスト『新潟市マイスター』として活躍
 ・「けん玉」で、子どもたちの輝きを築く
 ・大人気！「初心者そば打ち体験講座」満員御礼の「映画鑑賞会」
【7月 就学相談会(夏季・秋季)のご案内 第50号(平成30年7月3日)】
【7月 キラキラ新潟っ子応援団 No.2 第51号(平成30年7月17日)】
 ・「子どもの健康」を一番に考える 学校保健のご意見番
 ・ICTを活用した授業で 高等学校の英語教育を推進
 ・レクリエーション・コミュニケーションの達人集団「レクリエーションクラブしん」
【8月 キラキラ新潟っ子応援団 No.3 第52号(平成30年8月9日)】
 ・「民間人校長」…新潟市では、民間出身の校長を採用しています
 ・中央図書館ボランティアグループ「おはなし日和」
【9月 子どものころとからだNo.1 第53号(平成30年9月25日)】
 ・健康診断や保健室利用状況からみる子どもたちの健康

● 30年度の下半期の取組に向けて

○区教育ミーティング
 ・区教育ミーティングは、下半期も各区1回開催し、区ごとのテーマで意見交換を行う。
 ・参加者にミーティングについてアンケートを実施し、ニーズや課題等を把握する。

○中学校区教育ミーティング
 ・中学校区教育ミーティングは同一テーマで、16中学校区で開催する。
 ・参加者にミーティングについてアンケートを実施し、ニーズや課題等を把握する。

○新潟市ホームページによる「教育情報発信」を継続する。
【10月 子どものころとからだNo.2 第54号(平成30年10月)】
 ・小、中学校における保健教育を紹介すると共に、小中連携で実践している生活習慣病予防に関わる取組を紹介する。
【11月 子どものころとからだNo.3 第55号(平成30年11月)】
 ・近年始まった「がん教育」の実践内容と、地元の食材を生かした「イベント給食」について紹介する。
 12～2月 「生涯学習・社会教育の紹介」(3回シリーズ)で情報発信を行う。内容については、今後検討する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1,240	1,270	1,640	1,670	1,700		
進捗状況	1,210	1,531	1,611	1,664				
指標2	ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29～ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2.00	2.10	49	51	53		
進捗状況	1.93	1.97	2.02	49				
指標3	土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29～土曜プログラム活用校数(校)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4	4	20	24	27		
進捗状況	-	4	4	24				
指標4	放課後の学習支援をする中学校(校)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56	56	56	56			
進捗状況	-	56	56	56				
指標5	公民館出前型事業の実施校数(校)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		66	67	94	103			
進捗状況	66	72	89	103				
指標6	公民館と連携事業を実施する地域コミュニティ協議会数(か所)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		45	46	52	52	53		
進捗状況	41	51	60	63				
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 地域と学校パートナーシップ事業(再掲)		
H30事業計画	H30事業成果	
○本事業にかかる3回の研修会の開催(第1・3回研修会は、コーディネーター・地域連携担当職員対象。第2回研修会は、新任校長対象) ○新任コーディネーター研修 ○区研修のための研修幹事会 当初予算額 138,449 千円 決算額 千円		
構成事業2 ふれあいスクール事業(再掲)		
H30事業計画	H30事業成果	
○土曜プログラムモデル校4校でプログラムの内容や実施方法を検討。実施結果を運営主任研修会で報告 ○各校の運営の工夫を研修会や運営委員会、通信で紹介 当初予算額 31,555 千円 決算額 千円		
構成事業3 アフタースクール学習支援事業(再掲)【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会実施(10月11日予定) 当初予算額 6,182 千円 決算額 千円		
構成事業4 公民館出前型事業(再掲)		
H30事業計画	H30事業成果	
○学校の余裕教室などを会場にして、地域住民を対象とした公民館事業の開催 当初予算額 400 千円 決算額 千円		
構成事業5 地域コミュニティ活動活性化支援事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○地域コミュニティ協議会等地域団体と連携した地域課題の解決を支援する事業の実施 当初予算額 3,900 千円 決算額 千円		
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額 千円 決算額 千円		

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	200,939 千円	H27	193,363 千円
H28	199,612 千円	H28	200,474 千円
H29	194,961 千円	H29	188,669 千円
H30	180,486 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	775,998 千円	合 計	582,506 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

◎パートナーシップ事業研修会に公民館の学社民融合支援主事、図書館職員51名が参加して、地域教育コーディネーターとの情報交換を行い、地域教育コーディネーターと社会教育施設とのネットワークづくりを促した。また、地域教育コーディネーターのスキルアップのため、研修運営を担当する地域教育コーディネーターによる研修幹事会と区研修を実施した。

- ・第1回研修会(5月8日・14日・17日) 参加者527名(うち学社民融合支援主事38名、図書館職員13名)
- ・第2回研修会(8月8日) 新任校長対象 参加者30名
- ・第1回研修幹事会(7月2日) 各研修を各区とも8月までに1回以上実施した。

◎学校の教育活動を地域に発信するため、地域と学校ウェルカム参観日を実施した。また、市報・区だより・HPを利用した広報を行った。

- ・地域と学校ウェルカム参観日をこれまでに5小中学校で開催(10月1日現在)
- ・市報や区だよりにパートナーシップ事業やウェルカム参観日に関する記事を延べ24回掲載(9月10日現在)

◎ふれあいスクール事業は、30年度上半期67校で実施。また、ふれあいスクール運営主任の第1回研修会において、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や実技研修を行った。(6月実施 参加者200名、うち放課後児童クラブ支援員46名)

◎ふれあいスクールの土曜における体験活動や学習機会提供のためのプログラムを整備するため、モデル校4校を決定し、プログラムの内容や方法を検討している。

◎各校のふれあいスクールの活動時に訪問し、運営についての指導助言を行うとともに、スタッフへの感謝を伝えた。また、各校の運営上の工夫や、子どもに人気のある活動などについて、ふれあいスクールの研修会や各校の運営委員会、運営スタッフ向けの通信で紹介した。

◎5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い、今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校がある。全体での一斉授業と個別の支援の両面から生徒の能力やニーズに応じた学習支援を展開している。

◎公民館出前型事業は、公民館と地域教育コーディネーターと協働しながら講座の企画と運営をし、地域団体と連携して防災講座や家庭教育講演会、夏休みを利用した体験講座などを実施した。

◎各地区において、地域団体等と連携して、高齢化や少子化社会に対応する事業、地域イベントを通じた学校と地域を結ぶ事業を実施した。また、地域住民が自ら地域課題を探り、解決できるよう支援する事業を実施した。

●30年度の下半期の取組に向けて

◎地域との連携・協働を進める上での課題をテーマに、第3回地域と学校パートナーシップ事業研修会を実施する。

◎学校の教育活動を地域に発信するため、地域と学校ウェルカム参観日を継続する。

◎ふれあいスクールの各実施校の取組を一層充実させるために、運営主任や運営ボランティアを対象とした研修を進める。また、各校のふれあいスクールを訪問し、実施についての指導助言を行う。

◎地域の教育力を活かした子どもの豊かな体験や学びを培うことができるように、土曜プログラム検討会で内容や方法を検討改善することで、多くの学校に参考となるプログラムを作成していく。また、研修会や運営委員会等でプログラムの良さを紹介し、実施校の増加に努める。

◎アフタースクール学習支援員研修会を実施し、新潟市の生徒の状況を踏まえて学習支援に当たれるようにする。

◎公民館出前型事業では、地域に開かれた学校づくり・地域づくりを充実させるため、学校や地域教育コーディネーターや地域団体と連携して地域住民向けの事業を実施していく。

◎地域の人材育成や絆づくりに取り組むとともに、コミュニティ・コーディネーター育成事業を引き続き開催していく。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	高等教育機関からの専門的な情報提供、指導等を受けている教育課題(課題)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2	3	3	4			
進捗状況	1	2	3	4				
指標2	にいがた市民大学の受講率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0		
進捗状況	84.5	122.5	112.5	92.0				
指標3	連携・協力の実施状況(連携事業数)(件)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		9	9	9	9	9		
進捗状況	9	11	11	10				
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 高等教育機関活用推進事業【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○高等学校通級の適切な運用について指導を継続する。 ○文科省事業「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」を活用した取組の実施		
当初予算額	1,792 千円	決算額 千円
構成事業2 にいがた市民大学開設事業(再掲)		
H30事業計画	H30事業成果	
○基本講座 4講座 ○大学コンソーシアム連携講座 1講座		
当初予算額	5,380 千円	決算額 千円
構成事業3 図書館と教育機関・企業との連携・協力		
H30事業計画	H30事業成果	
○新潟大学附属図書館, 県立図書館との配本ネットワークの実施 ○団体貸出 ○新潟市と企業との包括連携協定記念事業への参加(予算は全て別事業)		
当初予算額	0 千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	6,514 千円	H27	6,245 千円
H28	6,328 千円	H28	5,945 千円
H29	12,770 千円	H29	11,622 千円
H30	7,172 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	32,784 千円	合 計	23,812 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の上半期の取組に対する評価

- 高等学校通級の取組においては、生徒の履修について検討し、報告を行った。
- 外部専門機関と連携した英語指導力向上事業においては、小中高の研修協力校のそれぞれの課題を把握した上で、今後どのような研修が必要かについて共通理解を図り、外部専門機関の紹介を行った。
- にいがた市民大学では、前期講座で講義形式により大学コンソーシアム連携講座を実施したり、市民ニーズを講座企画に盛り込む等、時代や社会の要請に応えた専門性の高い講座を合計5講座開設し、市民の学習要求に応えた。
- 新潟大学附属図書館と県立図書館との間で、配本ネットワークを実施し、利用者への本の提供を迅速に行うことができた。
- 企業や民間団体等への団体貸出を行い、地域の身近な場所へ本を提供することにより読書環境の充実に努めた。
- 新潟市とイオンリテール株式会社との包括連携協定の記念イベントに、「おでかけほんぼーと」として参加し、来場者に対し図書館サービスのPRに努めた。

● 30年度の下半期の取組に向けて

- 高等学校通級の取組については、他の市立2校についてもニーズの把握を行う。
- 外部専門機関と連携した英語指導力向上事業において、小中高の実践を紹介するとともに、成果と課題を共有し、小中高連携の機運を高めていく。
- にいがた市民大学では、後期講座で、現地学習・討論や製作などを取り入れた少人数のゼミナール形式で、1講座を実施する。学んだ成果を、レポート集としてまとめ、中央図書館等に配置するとともに更なる学びのために「自主グループ」結成の支援を行う。
- 引き続き、新潟大学附属図書館と県立図書館との間で配本ネットワークを実施する。
- 企業や地域へ団体貸出の登録を増やし、より多くの市民に本を届け図書館のPRに努める。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		学校関係者評価の結果に基づく検討・改善を行った学校の割合(%) (学校関係者評価の結果を公表した学校の割合)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0					

指標2								H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

指標3								H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

指標4								H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

指標5								H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

指標6								H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

指標7								H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

指標8								H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学校評価の充実	
H30事業計画	H30事業成果
○学校評価シートの改善と学校評価の定期的実施 ○学校評議員の全学校設置 ○学校マネジメント研修会の開催	
当初予算額	0千円
決算額	千円

構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4 千円	H27	23 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	0 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	4 千円	合 計	23 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

- いじめ対応等, 取組の重点化を図った学校評価シートに改善を図った。
- 全学校園から学校評価計画書が提出され, 地区担当指導主事による学校訪問を通して, 学校園の課題解決のための指導・助言が行われた。
- 全学校園に学校評議員の設置を終了し, 学校園の課題解決に向けて情報共有が進んでいる。
- 学校マネジメント研修会を4月25日に校園長を対象に実施し, 各学校園は課題の解決に向けて取り組むことができた。

●30年度の下半期の取組に向けて

- 学校評価の進捗状況評価(中間評価)を10月に実施し, 地区担当指導主事の学校園訪問による指導・助言を進める。
- 学校評議員の活用による年度末評価を3月に実施する。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1 生涯学習ボランティアの登録者数(人)		H30評価						
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1,386	1,392	1,175	1,200	1,225		
進捗状況	1,380	1,344	1,154	1,238				
指標2 公民館活動協力員との協働事業数(本)		H30評価						
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		165	165	165	165	165		
進捗状況	140	163	154	166				
指標3		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 生涯学習ボランティア育成支援事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○生涯学習ボランティアの養成 ○生涯学習ボランティアバンクの登録・活用		
当初予算額	123 千円	決算額 千円
構成事業2 公民館活動協力員との協働事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○事業企画・運営 ○活動協力員会議		
当初予算額	3,365 千円	決算額 千円
構成事業3		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	3,444 千円	H27	5,309 千円
H28	3,013 千円	H28	5,061 千円
H29	3,755 千円	H29	4,641 千円
H30	3,488 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	13,700 千円	合 計	15,011 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

◎生涯学習に関する豊かな知識や経験、優れた技能を有する地域の人材の有効活用を図るとともに、市民の学習活動の成果を地域社会に還元するためボランティアバンクを設置し、要請のあった関係機関等に登録されたボランティアを派遣するなど、学びの循環を推進した。また、ボランティアバンク登録者による自主企画講座の実施に向け、準備に努めた。

○生涯学習ボランティアバンクをチラシ、ホームページ等を通じて周知に努めた。

○地域の実情やニーズを事業に反映できるように、各公民館で活動協力員と連携して事業の企画運営を行っている。

●30年度の下半期の取組に向けて

◎生涯学習ボランティアバンクの制度を市報やホームページ、フェイスブック等を通じて周知を行うほか、公民館や学校等関係機関と連携してボランティアバンク登録者の派遣を促進する。また、ボランティア登録者による自主企画講座を実施するなど、活躍の場の創出に努める。

○生涯学習ボランティア活動に生かす技能を学習し、地域で活動する生涯学習ボランティアを養成する入門講座や、技量向上のためのスキルアップ講座を実施する。

○引き続き、地域のニーズを把握するため、定期的に活動協力員との会議を開催し、協働して事業を企画運営していく。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	「防災教育」学校・地域連携事業指定校数(校・累計)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		34	68	102	136		4	131.4%
進捗状況	8	34	69	102	134			
指標2							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○「防災教育」学校・地域連携事業指定校を指定し, 家庭や地域と連携した実践的な防災教育の推進		
当初予算額	9,847 千円	決算額 千円
構成事業2		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額 千円 決算額 千円		
構成事業3		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額 千円 決算額 千円		
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額 千円 決算額 千円		
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額 千円 決算額 千円		
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額 千円 決算額 千円		

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	12,600 千円	H27	9,131 千円
H28	11,134 千円	H28	10,689 千円
H29	10,450 千円	H29	9,987 千円
H30	9,847 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	44,031 千円	合 計	29,807 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○「防災教育」学校・地域連携事業で32校を指定し、各中学校区における防災教育の現状と課題を共有し、小中及び地域と連携した自校化プログラム作成について協議を行っている。

○5月に、防災教育の理念と自校化の定義の共有を図り、新潟県防災教育プログラムの＜教職員ガイド編＞を用いて、防災教育の理念の共有を行い、防災教育の自校化についての説明を行った。また、中学校区単位でのワークショップを行った。その結果、各校の防災教育実践の方向と指導計画自校化のイメージをもつことができるようになった。

○各実践校では、地域と連携した避難訓練を行うなどの取組が行われるようになり、少しずつ地域と連携した取組が広がってきた。

●30年度の下半期の取組に向けて

○各実践校で、系統的・継続的な防災教育指導計画作成を行い、自校化した計画を継続して取り組めるように2月に研修会を開催する。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	地域と連携した組織的な見守り活動を行っている学校の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
進捗状況	57.5	100.0	100.0	100.0				
指標2							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 地域見守り活動支援事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○「子ども見守り隊」実施要項の集約 ○スクールガードリーダーによる学校訪問及び安全指導 ○スクールガードリーダーと連携した子ども見守り隊の連携会議を実施		
当初予算額	737 千円	決算額 千円
構成事業2		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	1,063 千円	H29	1,062 千円
H30	737 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	1,800 千円	合 計	1,062 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○スクールガードリーダーについて、年度当初は1回3時間の勤務を月2回、年間18回の勤務を計画していたが、児童生徒の登下校時の安全確保のため、6月以降の勤務を月6回に増やした。この結果、通学路での見守り回数、各学校への訪問回数が増加し、子ども見守り隊の活動や各学校の安全・防犯活動に、一層かかわることができるようになった。

○各学校では、児童生徒の登下校の見守り活動の充実を図るために、子ども見守り隊に参加するボランティアの募集を継続して行っている。その結果、ボランティア登録者数はH29年度末と比較して約2割増加している。

○不審者情報を迅速かつ的確に把握し、情報を発信するために、不審者情報の新たな伝達方法を各学校に周知し、学校及び関係団体等への情報提供ができるようにした。

●30年度の下半期の取組に向けて

○児童生徒の安全な登下校の確保に向けて、現在小学校で実施している「地域における危険箇所の総点検」の結果を受けて、各学校の子ども見守り体制の改善を図るとともに、関係団体等との連携を一層図る必要がある。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	市立学校施設の耐震化率(%)						H30評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	-	-	-		
進捗状況	98.0	100.0	100.0	-	-	-		
指標2	H29～市立学校施設の非構造部材の耐震化促進(校)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		-	-	16	8			
進捗状況	-	-	-	16				0.0%
指標3	H29～市立学校施設のトイレ改修促進(校)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		-	-	13	13			
進捗状況	-	-	-	13				0.0%
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 改築事業及び大規模改修事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○大規模改修事業等で非構造部材の耐震化及びトイレ改修を実施する。		
当初予算額	2,644,400 千円	決算額 千円
構成事業2		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	6,669,200 千円	H27	7,333,239 千円
H28	1,382,900 千円	H28	1,273,048 千円
H29	4,861,700 千円	H29	4,562,744 千円
H30	2,644,400 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	15,558,200 千円	合 計	13,169,031 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○計画どおりに工事を実施しており,安全な学校施設整備が進んでいる。
 ・非構造部材の耐震化8校(外壁改修・ガラス入替えなど)
 ・トイレ改修13校(洋式化・ドライ化など)

●30年度の下半期の取組に向けて

○工事の完了を確認し,子どもの安全確保と避難所としての環境整備の向上を図っていく。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合
 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>
 当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

3期進捗平均

●施策を構成する事業

指標1 就学援助制度の保護者への周知率(%)小学校							H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
指標2 就学援助制度の保護者への周知率(%)中学校							H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
指標3 奨学生(高校～大学院)の採用率(%)							H30評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
指標4 奨学生(社会人)の採用率(%)							H30評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
指標5 ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29～ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数)							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	2.00	2.10	49	51	53			
進捗状況	1.93	1.97	2.02	49				
指標6 土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29～土曜プログラム活用校数(校)							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	4	4	20	24	27			
進捗状況	-	4	4	24				
指標7 放課後の学習支援をする中学校(校)							H30評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	56	56	56	56	56		4	100.0%
進捗状況	-	56	56	56	56			
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度、中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

構成事業1 就学援助事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○学用品費など就学に係る費用の一部を補助 ○市内小中学校のすべての保護者に「お知らせ」を年2回(4月・10月)配布		
当初予算額	1,107,076 千円	決算額 千円
構成事業2 奨学金貸付事業(高校～大学院)		
H30事業計画	H30事業成果	
○奨学金の貸付、返還 ○募集時の案内チラシの配布のほか、市内の高校を通じて来年度の進学予定の高校3年生に案内チラシを配布 ○返還者に「返還特別免除制度」チラシを納付書に同封		
当初予算額	136,375 千円	決算額 千円
構成事業3 社会人奨学金貸付事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○奨学金の貸付、返還 ○学校などの関係機関を通じて案内チラシを配布		
当初予算額	4,800 千円	決算額 千円
構成事業4 ふれあいスクール事業(再掲)		
H30事業計画	H30事業成果	
○土曜プログラムモデル校4校でプログラムの内容や実施方法を検討。実施結果を運営主任研修会で報告 ○各校の運営の工夫を研修会や運営委員会、通信で紹介		
当初予算額	31,555 千円	決算額 千円
構成事業5 アフタースクール学習支援事業(再掲)【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会実施(10月11日予定)		
当初予算額	6,182 千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,463,814 千円	H27	1,413,048 千円
H28	1,416,011 千円	H28	1,330,116 千円
H29	1,373,363 千円	H29	1,293,337 千円
H30	1,285,988 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	5,539,176 千円	合計	4,036,501 千円

注：再掲事業分を含む

● 30年度の上半期の取組に対する評価

○就学援助は、私立学校を含めて全ての小・中学校で、4月に保護者全員に「就学援助制度についてのお知らせ」を配布した。児童生徒数58,251人のうち、認定者数13,245人の保護者に対して、学校にかかる学用品費や給食費などの一部を援助し、保護者の経済的負担の軽減を行った。また、就学援助制度の在り方や方向性を検討するにあたり、義務教育などに係る保護者の経済的な負担やニーズを把握するための実態調査の準備を行った。

○奨学金制度は、募集定員101人に対し、同数人数の応募があった。選考基準を満たした募集員100人に採用決定し、貸付を行い、高等教育の機会均等を図った。本市への定住促進を図るため、返還者に対して納付書に「返還特別免除制度」のチラシを同封した。

○社会人奨学金制度は、募集定員6名に対し、1人の申請があった。キャリアアップを目指す社会人学生に対して経済的支援を行った。

◎ふれあいスクール事業は、30年度上半期67校で実施。また、ふれあいスクール運営主任の第1回研修会において、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や実技研修を行った。(6月実施 参加者200名、うち放課後児童クラブ支援員46名)

◎ふれあいスクールの土曜における体験活動や学習機会提供のためのプログラムを整備するため、モデル校4校を決定し、プログラムの内容や方法を検討している。

◎各校のふれあいスクールの活動時に訪問し、運営についての指導助言を行うとともに、スタッフへの感謝を伝えた。また、各校の運営上の工夫や、子どもに人気のある活動などについて、ふれあいスクールの研修会や各校の運営委員会、運営スタッフ向けの通信で紹介した。

○5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い、今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校がある。全体での一斉授業と個別の支援の両面から生徒の能力やニーズに応じた学習支援を展開している。

● 30年度の下半期の取組に向けて

○就学援助は、私立学校を含めて全ての小・中学校に、改めて10月に保護者全員に「就学援助制度」の周知チラシを配付し、制度周知の強化を図る。

○就学援助制度の在り方や方向性を検討するにあたり、小学校1年生から中学校3年生の保護者を対象にアンケート方式による実態調査を行う。

○奨学金制度は、市内の高校を通じて、来年度の進学予定の高校3年生に対して、制度チラシを学校を通じて配付し、制度周知を図る。

○本市への定住促進を図るため、これから就職を決める機会となる来年度の継続貸付者へ「返還特別免除制度」チラシを配付する。

◎ふれあいスクールの各実施校の取組を一層充実させるために、運営主任や運営ボランティアを対象とした研修を進める。また、各校のふれあいスクールを訪問し、実施についての指導助言を行う。

◎地域の教育力を活かした子どもの豊かな体験や学びを培うことができるように、土曜プログラム検討会で内容や方法を検討改善することで、多くの学校に参考となるプログラムを作成していく。また、研修会や運営委員会等でプログラムの良さを紹介し、実施校の増加に努める。

○アフタースクール学習支援員研修会を実施し、新潟市の生徒の状況を踏まえて学習支援に当たれるようにする。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	タブレット型コンピュータを整備した小・中学校の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		34.0	68.0	90.0	100.0	100.0		
進捗状況	5.0	34.0	68.0	90.0				
指標2	教育ネットワークの構築						H30評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		調査・研究	調査・研究	導入方法検討	計画策定	開発		
進捗状況	-	調査・研究	調査・研究	調査検討				
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学校ICT環境整備事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○PC教室用の端末等機器の更新(タブレット端末含) ○校内LAN用PCの更新(タブレット端末含) ○教職員用PCの更新		
当初予算額	867,489 千円	決算額 千円
構成事業2 教育ネットワーク構築事業【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○教育ネットワーク構築に係る調査研究		
当初予算額	7,000 千円	決算額 千円
構成事業3		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	750,275 千円	H27	735,201 千円
H28	809,582 千円	H28	796,482 千円
H29	820,428 千円	H29	839,104 千円
H30	874,489 千円	H30	0 千円
H31	0 千円	H31	0 千円
合 計	3,254,774 千円	合 計	2,370,787 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○教職員用コンピュータの更新は計画どおりに実施されている。
 ・教職員用コンピュータ 44校 630台 8月31日までに更新終了済み

○教育用コンピュータの更新は8月23日の入札が不調に終わり、10月22日に再度入札を行う予定。
 ・教育用コンピュータ 45校 1,168台(内タブレット190台) 更新作業は1月31日までに終了予定。
 現行機器は10月31日までのリース契約だが、再リースを行うことで対応する。

○教育ネットワークについては、「新潟市教育ネットワーク構築基本計画」を策定中である。

●30年度の下半期の取組に向けて

○教育用コンピュータの更新を予定どおりに終了する。

○「新潟市教育ネットワーク構築基本計画」を12月中旬に策定する。また、関係課と協議し、今後の導入に向けた検討を行う。

●推進委員からの意見・要望等

○ 教職員の多忙化解消について、コンピュータや周辺機器の機能や使い勝手、及び耐久性なども教職員の職務に大きな影響を及ぼす。最新の使いやすい機器の導入をお願いしたい。また総合教育センターのホームページに指導案や教材が掲載されているが、とても役立っている。今後もより多くの情報提供をしてほしい。

⇒ パソコンなどは5年リースであるが、導入の際に必要なスペックなどを踏まえて導入している。今後も学校現場の要望などを踏まえていきたい。また教育ネットワーク導入により、多忙化解消を進めることができると考えており、できるだけ早い時期に整備をしていきたい。

⇒ ホームページのデジタル教材には、一番多い月で5,000件以上のアクセスがある。今後も充実させていきたい。

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1 ボランティア室整備学校(累計校数)							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	43	45	47	57	60			
進捗状況	43	46	51	58				

指標2							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 ボランティア室等の整備	
H30事業計画	H30事業成果
○大規模改修に伴い2校で整備 ※金額は、大規模改修等の一部につき省略	
当初予算額 0千円	決算額 千円

構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	0 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○上半期は、計画どおりに工事進捗している。
 ・整備校は2校(山潟小, 横越小)

●30年度の下半期の取組に向けて

○年内に完了予定であり, ボランティア室の整備をすることで, コミュニティの拠点としての学校施設整備を進めていく。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	大規模改修整備校数(校)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	14	12	16	8				
進捗状況	15	12	6	16				
指標2							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 改築・新築, 大規模改修及びその他の老朽改修事業【新規】			
H30事業計画		H30事業成果	
○大規模改修工事を8校で実施 ※金額は、10-(3)と一部重複			
当初予算額	2,337,600 千円	決算額	千円
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業2			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業3			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4,024,400 千円	H27	3,738,300 千円
H28	3,277,000 千円	H28	1,933,387 千円
H29	4,685,900 千円	H29	4,393,474 千円
H30	2,337,600 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	14,324,900 千円	合 計	10,065,161 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の上半期の取組に対する評価

○上半期では、計画どおりに工事進捗している。
 ・大規模改修実施8校(牡丹山小, 竹尾小, 山潟小, 曾野木小, 横越小, 亀田小, 味方小, 木戸中)

● 30年度の下半期の取組に向けて

○年内で工事完了し, より安全で快適な学習環境の整備を目指す。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	生涯学習相談件数(件)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		300	310	320	330	340		
進捗状況	297	296	307	326				
指標2	図書館資料予約件数(件)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		694,000	706,000	718,000	731,000	743,000		
進捗状況	643,178	726,836	747,277	740,125				
指標3	市民一人当たりの図書館資料(雑誌, AVを含む)貸出点数(点)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		5.82	5.92	6.02	6.12	6.22		
進捗状況	5.71	5.83	5.67	5.44				
指標4	郷土資料のデジタルアーカイブ化・国立国会図書館のデジタル資料閲覧サービスの提供						H30評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		試行・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧		
進捗状況	-	実施・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧				
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学習情報の収集・提供・相談事業(再掲)		
H30事業計画	H30事業成果	
○生涯学習情報提供システムの運営 ○学習情報の収集・提供及び学習相談 ○生涯学習相談ボランティア養成講座 ○パソコン初心者向け講習会	当初予算額	203 千円
	決算額	千円
構成事業2 図書館サービス向上事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○配本車の運行 ○図書館情報システムの維持管理 ○「新潟広域都市圏連携協約」に伴う図書館相互利用の拡大	当初予算額	114,067 千円
	決算額	千円
構成事業3 電子図書館機能の整備【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○国立国会図書館のデジタル資料閲覧サービスの提供 ○新潟県立図書館「越後佐渡デジタルライブラリー」への参加 ○デジタルアーカイブ公開資料の追加(予算はネットワーク費に含まれる)	当初予算額	0 千円
	決算額	0 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
	当初予算額	千円
	決算額	千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
	当初予算額	千円
	決算額	千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
	当初予算額	千円
	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	149,308 千円	H27	143,940 千円
H28	114,008 千円	H28	110,821 千円
H29	115,142 千円	H29	112,503 千円
H30	114,270 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	492,728 千円	合 計	367,264 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

- ◎市民の多様な学習ニーズに対応するため、「研修・講演 講師紹介ガイド」による人材・講師情報の提供を行った。
- ◎生涯学習に関する豊かな知識や経験、優れた技能を有する地域の人材の有効活用を図るとともに、市民の学習活動の成果を地域社会に還元するため、関係課との連携やPRを行い、ボランティアバンクへの登録推進および登録されたボランティアの派遣を実施した。
- ◎市民の主体的な学習を支援するため、生涯学習相談ボランティアによる学習情報の収集・提供及び学習相談を実施し、市報やホームページ、SNS等により制度の周知を図り、学習相談件数の増加に努めた。
- ◎生涯学習相談に役立てるため、生涯学習相談ボランティアの研修会を実施した。
- ◎パソコン指導ボランティアによるパソコン初心者向け講習会を実施し、市民の主体的な学習を支援した。
- 「新潟広域都市圏連携協約」に伴う図書館相互利用を、新発田市、阿賀野市、聖籠町、五泉市に加え、新たに、燕市、阿賀町、胎内市、弥彦村、田上町と開始した。各市町村の住民が、行政区域にとらわれることなく、相互に利用しやすい図書館を選択できるようになり、図書資料の有効活用を図ることができた。

●30年度の下半期の取組に向けて

- ◎市民の生涯学習活動を支援するため、引き続き「研修・講演 講師紹介ガイド」による人材・講師情報の提供を行う。
- ◎生涯学習ボランティアバンクをホームページ等を通じて周知を行うほか、登録者による自主企画講座を実施し、登録者の活躍の場の創出と学習機会の提供を行う。
- ◎生涯学習相談件数の増加を図るため、出前による相談を実施するほか、生涯学習相談ボランティア養成講座を実施し、学習相談体制の充実を図る。
- ◎引き続き、パソコン指導ボランティアや専門学校との協働によるパソコン初心者向け講習会を実施する。
- ◎生涯学習ボランティア活動に生かす技法を学習し、地域で活動する生涯学習ボランティアを養成する入門講座や、技量向上のためのフォローアップ講座を実施する。
- 引き続き、「新潟広域都市圏連携協約」に基づき、近隣自治体との相互利用を進める。
- 「新潟市立図書館デジタルアーカイブ」のページで、新津図書館の5点の郷土資料デジタルデータを公開する。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	各研修講座における受講者の満足度と活用度(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		80.0	85.0	85.0	88.5			
進捗状況	80.0	87.0	87.5	88.1				
指標2	マイスター養成熟修了者(名)						H30評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		102	108	110	128			
進捗状況	102	103	110	121				
指標3	学社民融合研修会の実施(回)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		7	7	7	8			
進捗状況	7	7	7	8				
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教育関係職員の研修プログラムの一層の充実		
H30事業計画	H30事業成果	
○キャリアステージ研修(法定研修, 若手教師道場, マイスター養成塾等) ○専門研修(組織力向上研修, 授業力向上研修等)		
当初予算額	8,552 千円	決算額
構成事業2 学社民融合研修の推進		
H30事業計画	H30事業成果	
○パートナーシップ事業研修会(3回) ○ふれあいスクール研修会(3回) ○公民館改革職員研修 ○生涯学習関係管理職研修 ※1項目目, 2項目目の当初予算額はシート9-(1)に掲載		
当初予算額	147 千円	決算額
構成事業3		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	6,167 千円	H27	4,034 千円
H28	6,482 千円	H28	4,792 千円
H29	10,652 千円	H29	8,870 千円
H30	8,699 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	32,000 千円	合 計	17,696 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○平成30年度上半期に、教育関係職員の研修プログラムとして実施した講座は以下のとおりである。

- ・キャリアステージ研修 25講座 延べ受講者数 2,464人
- ・専門研修 55講座 延べ受講者数 2,278人
(計 80講座 延べ受講者数 4,742人)

○キャリアステージ研修における法定研修・若手教師道場では、「マンツーマンの授業づくり研修」の体制は堅持して実施した。講座修了後に実施する受講者の満足度評価では、肯定的評価が95%以上となっており、受講者それぞれのニーズに対応した丁寧な研修の実施が評価されている。

○マイスター養成塾では、平成29年度入塾生6名、平成30年度入塾生9名、計15名が今年度受講している。認定者を一人でも多く輩出できるよう、所内で月2回のペースで指導主事研修を実施し、指導主事の指導力向上を図っている。また、外部指導者を依頼して全ての受講者の専門教科に対応したり、複数の指導主事で指導にあたりたりする等、一層研修効果上がるような工夫も取り入れている。研究授業を重ねる度に点数が伸びている塾生も多く、研修成果を実感できている。

◎「学・社・民の融合による教育」をさらに推進するため、生涯学習・社会教育関係職員の意識共有を図り、専門性を高めるため管理職研修を開催した。

●30年度の下半期の取組に向けて

○上半期と同様、キャリアステージ研修、専門研修とも、受講者の受講満足度の肯定的評価88.5%以上を目標に、内容の精選と重点化、研修形態の工夫などに取り組み、研修講座を実施する。

○マイスター養成塾では、総受講者15名を対象に、認定授業終了時の合格細目割合平均80%以上、または、認定授業終了時の合格細目割合平均が、年度当初の授業におけるそれと比較して、15%以上上昇した者の割合75%以上となることを目指し、認定授業までの指導案指導、授業研究等への指導・支援を充実させる。

○公民館職員のスキルアップを図るため、公民館改革職員研修を開催する。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	放課後に子どもと接する時間が1週間あたり5時間以上の教員の割合(%)→H30～月当たり平均時間外勤務時間が45時間以下の教職員の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		65.0	66.0	66.0	70.0			
進捗状況	64.2	65.8	64.9	50.3				
指標2	教職員の病気休暇・休職者(30日以上)のうち精神疾患患者の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		41.5	41.5	38.0	38.0			
進捗状況	43.9	42.1	38.9	38.3				
指標3	支援を要する教職員(人)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		14	14	13	13			
進捗状況	15	15	14	15				
指標4							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 多忙化解消対策の推進		
H30事業計画	H30事業成果	
○第2次多忙化解消行動計画の推進 ○時間外勤務時間の把握と実態調査の実施 ○校長会と合同での働き方改革の研修会の実施 ○1校1取組, 1人1取組による意識啓発		
当初予算額	128 千円	決算額 千円
構成事業2 教職員ヘルスケアシステム		
H30事業計画	H30事業成果	
○教職員健康管理委員会開催 ○職場復帰のための支援体制整備 ○メンタルヘルス相談体制充実 ○職員研修の開催 ○過重労働対策医師面談		
当初予算額	678 千円	決算額 千円
構成事業3 支援を要する教職員の研修		
H30事業計画	H30事業成果	
○対象教職員に対する指導力向上研修の実施 ○指導が不適切な教職員に関する委員会の開催		
当初予算額	114 千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	989 千円	H27	836 千円
H28	968 千円	H28	562 千円
H29	1,121 千円	H29	868 千円
H30	920 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	3,998 千円	合 計	2,266 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○多忙化解消対策の推進
 ・校長研修会や小中学校長会を通して、第2次多忙化解消行動計画の具体的な方策や自校の取組についての認識を深めた。
 ・全市学校園の1校1取組を集約し、各学校へ紹介したり、学校訪問等での支援に生かした。
 ・出退校簿の入力フォームを改良し、円滑な教職員の勤務実態の把握に努めた。
 ・8月13日から15日までの間を、原則、学校に勤務者を置かない「学校閉庁日」として、教職員の休暇取得の促進に努めた。

○教職員ヘルスケアシステム
 ・各種研修を予定通り実施することで、教職員の健康管理に対する意識を高めることができた。
 (新任校長研修等、既存の研修に組み入れた研修、職種や経験年数に応じたメンタルヘルス研修)
 ・健康管理委員会を開催し、教職員の休職の可否や復職の可否等について、病状の検討や判定を行った。委員の助言を勤務校に伝えることで、スムーズな復職への支援の一助とすることができた。
 ・精神疾患による療養休暇者・分限休職者に対し、職場復帰への準備と再発防止を図るため、職場復帰支援プログラムを行った。
 ・教職員のための健康相談窓口を開設し、教職員の健康不安の軽減と健康保持増進を図った。
 ・長時間労働を行った教職員に対して医師による面接指導を行い、教職員の健康障がい防止を図った。

○支援を要する教職員の研修
 ・学校訪問の際に、支援を要する教職員の状況について確認し、校長と連携して校内研修の充実を図った。
 ・学校からの要請により、総合教育センター及び学校支援課と連携して支援を要する教職員に対する研修を行い、指導力向上を図った。

●30年度の下半期の取組に向けて

○多忙化解消対策の推進
 ・多忙化解消に向けた取組に関する調査を実施する(学校・個人について経年変化)。
 ・1校1取組の報告を含む調査結果を分析・評価し、それに基づき、成果をあげた取組やそのポイントを水平展開できるように学校園の支援を行う。
 ・教職員が目標とする休暇取得が可能になる長期休業中の研修日程を検討し、次年度の研修計画を策定する。
 ・多忙化解消検討会において、「第2次多忙化解消行動計画」の進捗について確認し、計画の修正や新たな取組の検討を行う。

○教職員ヘルスケアシステム
 ・月1回、健康管理委員会を開催し、教職員の休職の可否や復職の可否等について、病状の検討及び判定を行う。委員からの助言を勤務校に伝えて職場復帰を支援する。
 ・精神疾患による療養休暇者や分限休職者に対し、職場復帰の準備と再発防止を図るため、職場復帰支援プログラムの実施を働き掛ける。
 ・機会を捉えて、教職員のための健康相談窓口の周知を図る。
 ・ストレスチェック結果の活用等をテーマに、管理職対象の研修会を実施する。
 ・長時間労働を行った教職員に対し、医師による面接指導を実施する。

○支援を要する教職員の研修
 ・支援を要する教職員に関する情報収集に努め、校長との連携により効果的な支援を進める。
 ・実施中の指導力向上研修をさらに進め、対象者の教師力向上を図る。
 ・支援を要する教職員に関する委員会を開催し、次年度の支援の在り方を検討する。

●推進委員からの意見・要望等

○ PTAとして教職員の働き方改革について気になるのですが、教職員の業務について、アルバイトなどの他の方々に任せたり、業務を減らしたりするような目の覚めそうな良い施策はあるのでしょうか。
 ⇒ 教職員の出退勤管理システムによって、教職員自らが、校長が現状を把握できるようになり、仕事と共に家庭生活の充実を考え行えるように進めています。また今年度、学校事務支援員を5名配置し、コピーや印刷などの事務仕事を行い、教職員の負担軽減を図っています。文部科学省は来年度予算を増額する予定です。
 ○ 月45時間を超える時間外勤務をしている職員が4割から3割に減少したことなど、確実に意識改革が進んでいる。

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合
 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>
 当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	出願倍率(倍)(出願数/採用者数)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4.2	4.9	3.6	3.1			
進捗状況	4.1	5.5	4.3	3.4				
指標2	女性管理職等(教頭, 主幹教諭, 主任)の割合(%) ※次年度4月1日現在における目標値						H30評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		38.0	38.0	37.0	38.0	40.0		
進捗状況	36.0	35.4	36.3	36.1				
指標3	マイスター配置校の割合(%)※マイスターのいる市立学校の割合						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		28.0	30.0	33.0	38.0			
進捗状況	27.8	29.5	32.7	36.0				
指標4							H30評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標5							H30評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標6							H30評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標7							H30評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標8							H30評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								

<指標目標の設定型>
 I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
 II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
 III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
 (原則として前年度設定値以上)
 IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教員採用選考検査		
H30事業計画	H30事業成果	
○教員採用選考検査の実施 ○翌年度の教員採用選考検査計画案の作成 ○人材確保のための工夫・改善		
当初予算額	4,273 千円	決算額 千円
構成事業2 管理職選考検査		
H30事業計画	H30事業成果	
○管理職選考検査の実施 ○管理職の登用 ○翌年度の管理職選考検査の計画案作成 ○女性管理職の登用・人材育成		
当初予算額	71 千円	決算額 千円
構成事業3 適材適所の人員配置		
H30事業計画	H30事業成果	
○異動方針・基準の周知徹底を図るとともに, 全市的視野に立ち, 校種間の連携を促進するために, 異校種間の異動を積極的に推進 ○学校課題に即した非常勤講師の配置		
当初予算額	17,676 千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	19,068 千円	H27	13,008 千円
H28	16,250 千円	H28	13,276 千円
H29	20,580 千円	H29	13,998 千円
H30	22,020 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	77,918 千円	合計	40,282 千円

注：再掲事業分を含む

● 30年度の上半期の取組に対する評価

○ 教員採用選考

・出願者数の減少と採用予定者数の増加により倍率が低下している。
 ・昨年度、現職教員が在職のまま受検できることとした。その結果、今年度は、19人(昨年度+8人)の新潟県現職教員の受検があり、即戦力として期待できる出願者を確保することができた。
 ・今年度、教職経験者特別選考の出願要件となる勤務経験年数を短縮した(5年→3年)。その結果、教職経験者特別選考の出願者が37人(昨年度+17人)となり、即戦力となる出願者を多数確保することができた。

○ 管理職選考

・新潟市立学校について管理職選考(校長・教頭等)を実施した。
 ・受検者数は、校長選考検査受検者98人(昨年度 97人)、教頭等選考検査受検者167人(昨年度 152人)。
 ・平成30年7月26日に第一次検査を実施。今年度より、検査会場を新潟市総合教育センターとし、円滑に運営ができた。

○ 教職員の適材適所への配置

・教育ビジョンの基本施策「校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり」に向け、異校種への転配置の特例措置を廃止し、一般異動として行った。新採用5年目終了者の異動(養護教諭は除く)については、市外勤務に加えて、市内の小・中・高・中等・特支の異校種への異動を積極的に進めることとした。

○ 女性管理職の登用

・管理職選考検査の女性受検者の人数：女性受検者数は校長20人(H29)→15人(H30)、教頭20人(H29)→23人(H30)と、昨年度と比較して、校長受検者で5人減、教頭等受検者で3人増となった。

○ 非常勤講師の配置

・道徳特別非常勤講師、専科非常勤講師、免外解消非常勤講師など、各校の課題に応じて非常勤講師を配置した。

● 30年度の下半期の取組に向けて

○ 教員採用選考

・採用内定者を対象に採用ガイダンスを今後2回実施し、新潟市の教員としての意欲の向上を図るとともに、教員内定者としての服務規律を確保する。
 ・2019年度実施の採用選考検査の骨子づくりを行う。
 ・教員を志望する人材を増やすため、新潟市で教員として働く魅力を多くの世代に広く伝える取組を行う。

○ 管理職選考

・10月～11月に、民間人面接官を含めた面接を実施するなど、公平性・透明性を確保した第二次検査を実施し、人物重視の登用を行う。

○ 教職員の適材適所への配置

・10月実施の人事異動方針説明会にて、人事異動方針・基準について、現場への周知徹底を図る。
 ・人事異動に係る基準を基に、人事異動を円滑に進めていく。
 ・職住近接を基本に、適材適所の人員配置を行う。
 ・県との円滑な人事交流を行うために、今後も情報交換を密に行うとともに、人事異動登録票を基に先を見通しながら計画的に進めていく。

○ 女性管理職の登用

・力量のある女性を、積極的に管理職へ登用していく。

○ 非常勤講師の配置

・人事異動会議等を通して、各校の課題やニーズを把握し、効果的な非常勤講師の配置を進めていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	評価者研修受講者の充実度(満足度)が高い人の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		90.0	90.0	90.0	90.0			
進捗状況	87.3	88.7	88.0	88.7				
指標2	優秀教職員の表彰						H30評価	
Ⅳ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施	実施			
進捗状況	-	実施	実施	実施	実施			
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教職員の人事評価制度の実施・改善		
H30事業計画	H30事業成果	
○教職員人事評価の実施 ○評価者研修の実施 ○平成29年度に使用した評価シートの改善検討		
当初予算額	407 千円	決算額 千円
構成事業2 教職員表彰制度		
H30事業計画	H30事業成果	
○被表彰者の選考と表彰の実施		
当初予算額	53 千円	決算額 千円
構成事業3		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	966 千円	H27	934 千円
H28	788 千円	H28	778 千円
H29	563 千円	H29	365 千円
H30	460 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	2,777 千円	合 計	2,077 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

- 教職員人事評価制度についての説明会を年度当初に実施し、新しいシートを活用した人事評価の運用を図るスタートを切ることができた。
- 1・2年目の校園長・教頭に対する評価者研修を開催した。(3回)
- 教育委員会表彰に計25名の推薦があった。選考委員会で10名の表彰者を決定し、表彰式を実施した。

●30年度の下半期の取組に向けて

- 新しい評価シートを活用した教職員人事評価の運用から、問題点を洗い出し修正し、評価シートの改善を図る。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

3期進捗平均

●成果指標

指標1	区教育ミーティングの開催(回)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		16	16	16	16			
進捗状況	16	16	16	16				
指標2	中学校区教育ミーティングの実施回数(累計中学校区数)→H29~(中学校区数)						H30評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		32	56	28	28			
進捗状況	8	32	56	28				
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 区教育ミーティングの開催【新規】	
H30事業計画	H30事業成果
○各区年2回実施	
当初予算額 0千円	決算額 千円
構成事業2 中学校区教育ミーティングの開催【新規】	
H30事業計画	H30事業成果
○市内28中学校区で実施	
当初予算額 0千円	決算額 千円
構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	0 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○区教育ミーティング

- ・上半期では、区教育ミーティングを各区1回実施した。
- ・区教育ミーティングでは、平成30年度の地域と共に進める主な施策について情報提供し、またフリーテーマでの意見交換を行った。地域と学校との関わりについての成果や課題、教員の多忙化解消問題、登下校の子どもたちの見守りなどについて、参加者と教育委員で活発な意見交換が行われた。

○中学校区教育ミーティング

- ・上半期では、中学校区教育ミーティングを12中学校区で実施した。
- ・中学校区教育ミーティングでは防災教育をテーマとし、学校単位で作成されている防災教育プログラムに沿った取組を紹介するとともに、防災教育について地域と連携した進め方を意見交換した。
- ・参加者にミーティングについてアンケートを実施し、ニーズや課題等の把握をした。

●30年度の下半期の取組に向けて

○区教育ミーティング

- ・区教育ミーティングは、下半期も各区1回開催し、区ごとのテーマで意見交換を行う。
- ・参加者にミーティングについてアンケートを実施し、ニーズや課題等を把握する。

○中学校区教育ミーティング

- ・中学校区教育ミーティングは同一テーマで、16中学校区で開催する。
- ・参加者にミーティングについてのアンケートを実施し、ニーズや課題等を把握する。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	例規整備やシステム構築などの権限移譲準備						H30評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	人給構築 人給稼働 - - -							
進捗状況	基本計画策定 人給稼働 - - -							
指標2	H29～教育行政の効果的・効率的な執行体制の整備と市長部局との連携を図るため、「新潟市総合教育会議」を共同開催						H30評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	- - 協議・開催 協議・開催 協議・開催							
進捗状況	- - 協議・開催							
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 県費負担教職員の権限移譲準備【新規】			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業2 新潟市総合教育会議の開催【新規】			
H30事業計画		H30事業成果	
○市長部局と連携を図り, 教育行政の効果的・効率的な執行体制の整備や, 教育課題に的確に対応することを目的とした年2回の総合教育会議の運営			
当初予算額	0千円	決算額	千円
構成事業3			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	126,415 千円	H27	63,455 千円
H28	174,219 千円	H28	170,308 千円
H29	0 千円	H29	41 千円
H30	0 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	300,634 千円	合 計	233,804 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○総合教育会議

- ・上半期は、「全市をあげての子どもの安全確保」について本市のこれまでの取組と事件発生後の取組を説明するとともに、今後、市長部局と教育委員会が一体となって取り組む事業を説明し、協議を行った。また、本市の一貫教育の取組のうち、「新潟市共通接続期カリキュラム(幼保小連携)」について説明し、今後の進め方について協議を行った。
- ・テーマ内容について、各担当課から事務事業説明の後、市長と8人の教育委員が積極的に意見交換をした。
- ・教育委員からは、子どもの安全確保について、「多くの人の目で見守ることが大事、防犯カメラも大事だが、防犯灯を増やして灯りが多いまちになるといい」「安全マップは作って終わりではなく、親子で、または地域の方と一緒に歩いてみてほしい」などの意見があった。市長からは「防犯灯については補助の基準を定めて支給しているが、優先順位を加味しながら対応していく」との発言があった。また所管課からは「安全マップは作って終わりにはせず、継続的な取組を検討していく」との発言があった。
- ・「新潟市共通接続期カリキュラム」については、教育委員から「小学校にはいろいろな保育園や幼稚園から来る。中央区などは30くらいの園から来るので大事なことは各園と学校が共通理解を図ることである」などの意見があった。所管からは「市内の幼稚園、保育園から小学校への接続がスムーズになるよう、市立だけでなく私立も含めて様々な保育園、幼稚園を網羅し、すべての授業に取り組めるような形ですすめる」との発言があった。

●30年度の下半期の取組に向けて

○2月に「次年度の教育施策」に関連するテーマに基づき、第2回総合教育会議を開催する。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	にいがた共育通信(発行回数)						H30評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	4	4	-	-	-	-		
進捗状況	4	4	-	-	-	-		
指標2	H29～にいがた共育通信を読んで「教育ビジョンの施策内容について理解できた」と回答した人の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	-	90.0	90.0				
進捗状況	-	-	-	88.9				
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教育情報発信事業	
H30事業計画	H30事業成果
○新潟市HPを用いて, 情報発信を行う。 ○6月～平成31年2月まで, 毎月1回を目途とする。 ○学校教育や社会教育の取組とともに, 教育ビジョンの施策を紹介する。	
当初予算額	0 千円
決算額	千円
構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,646 千円	H27	1,464 千円
H28	1,232 千円	H28	1,089 千円
H29	1,232 千円	H29	1,066 千円
H30	0 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	4,110 千円	合 計	3,619 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の上半期の取組に対する評価

○新潟市ホームページによる「教育情報発信」として行った。

【6月 キラキラ新潟っ子応援団 No.1 第49号(平成30年6月13日)】

- ・授業のスペシャリスト『新潟市マイスター』として活躍
- ・「けん玉」で、子どもたちの輝きを築く
- ・大人気！「初心者そば打ち体験講座」満員御礼の「映画鑑賞会」

【7月 就学相談会(夏季・秋季)のご案内 第50号(平成30年7月3日)】

【7月 キラキラ新潟っ子応援団 No.2 第51号(平成30年7月17日)】

- ・「子どもの健康」を一番に考える 学校保健のご意見番
- ・ICTを活用した授業で 高等学校の英語教育を推進
- ・レクリエーション・コミュニケーションの達人集団「レクリエーションクラブしん」

【8月 キラキラ新潟っ子応援団 No.3 第52号(平成30年8月9日)】

- ・「民間人校長」…新潟市では、民間出身の校長を採用しています
- ・中央図書館ボランティアグループ「おはなし日和」

【9月 子どものころとからだNo.1 第53号(平成30年9月25日)】

- ・健康診断や保健室利用状況からみる子どもたちの健康

● 30年度の下半期の取組に向けて

○新潟市ホームページによる「教育情報発信」を継続する。

【10月 子どものころとからだNo.2 第54号(平成30年10月)】

- ・小、中学校における保健教育を紹介するとともに、小中連携で実践している生活習慣病予防に関わる取組を紹介する。

【11月 子どものころとからだNo.3 第55号(平成30年11月)】

- ・近年始まった「がん教育」の実践内容と、地元の食材を生かした「イベント給食」について紹介する。

12～2月 「生涯学習・社会教育の紹介」(3回シリーズ)で情報発信を行う。内容については、今後検討する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標2		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学校適正配置の推進	
H30事業計画	H30事業成果
○新潟市立学校適正配置基本方針に基いた学校適正配置の推進	
当初予算額	700 千円
決算額	千円
構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	2,261 千円	H27	1,082 千円
H28	1,039 千円	H28	815 千円
H29	1,090 千円	H29	1,078 千円
H30	700 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	5,090 千円	合 計	2,975 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○新潟市立小中学校の適正配置基本方針に基づき、学校適正配置を推進している。主な取組は下記のとおりであり、いずれも概ね順調に進行している。

- ・今年度初めに、統合を完了した北区太田小学校と葛塚東小学校においては、6月に最終統合実行委員会を開催し、統合後の児童の様子やPTA組織などを確認した。またスクールバスの運行等については、更により良い運行を目指し、今後は太田地域コミュニティ協議会の中で検討を行うことを確認した。
- ・北区笹山小学校については、5月に木崎小学校への統合の要望書が提出され、9月教育委員会定例会にて決定した。10月に、木崎小学校・笹山小学校統合実行委員会と笹山小学校閉校記念事業実行委員会を開催するため、準備を進めている。
- ・中央区鳥屋野小学校における児童数増加による大規模化対応については、5月に校舎増築による対応を求める要望書が提出された。また、来年度から使用されるプレハブ教室等の設置方法について、6～8月に、学校・PTA・コミ協の方々による懇談会を開催し、意見の一致を図った。
- ・西区新通小学校分離新設校については、5月に通学路における交通安全対策の要望書が坂井輪中学校区まちづくり協議会から新潟西警察署と西区役所に提出された。また7月から新通小学校分離新設校開校準備委員会を開催し、現在、校名・校旗・校歌等の検討を行っている。

○児童生徒数の推計について、学校等と確認を行うのは、以下の小中学校の予定である。(☆は既に実施した学校)

- ・北区 ☆豊栄南小学校、太夫浜小学校、南浜小学校、南浜中学校、岡方第一小学校、岡方第二小学校、岡方中学校
- ・秋葉区 小合小学校、小合東小学校、小合中学校
- ・南区 庄瀬小学校、白南中学校
- ・西区 ☆笠木小学校、☆小瀬小学校、☆中野小屋中学校、☆赤塚小学校、☆木山小学校、☆赤塚中学校
- ・西蒲区 越前小学校、松野尾小学校、☆升潟小学校

●30年度の下半期の取組に向けて

○上半期に引き続き、新潟市立小中学校の適正配置基本方針に基づき、学校適正配置を推進する。主な取組は下記のとおりである。

- ・北区木崎小学校・笹山小学校統合実行委員会と笹山小学校閉校記念事業実行委員会を開催し、支援する。
- ・西区新通小学校分離新設校開校準備委員会にて協議を継続する。

○学校適正配置が必要な地域へ、児童生徒数の推計などの情報提供を行うとともに、今後について意見交換を行う。

- ・北区 太夫浜小学校、南浜小学校、南浜中学校、岡方第一小学校、岡方第二小学校、岡方中学校
- ・秋葉区 小合小学校、小合東小学校、小合中学校
- ・南区 庄瀬小学校、白南中学校
- ・西蒲区 越前小学校、松野尾小学校

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	指標どおりに概ね達成した施策の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	75.0	90.2	85.0	85.0				
進捗状況	75.0	90.2	84.3	86.3				
指標2							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教育ビジョンの適正な推進			
H30事業計画		H30事業成果	
○教育ビジョン推進委員会を3回実施 ○全54施策の進行管理・評価を実施 ○施策の点検と評価のダイジェスト版を作成・配付			
当初予算額	277 千円	決算額	千円
構成事業2			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業3			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	588 千円	H27	609 千円
H28	812 千円	H28	732 千円
H29	553 千円	H29	546 千円
H30	277 千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	2,230 千円	合 計	1,887 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○5月に、新潟市教育ビジョン第3期実施計画平成29年度施策最終評価を行った。全施策の数値評価の平均は4.17、NEXT&NEWの平均は4.22となった。

○評価分布は、概ね目標を達成した施策(=4)と目標を上回って達成した施策(=5)を合わせて44施策、86.3%になり、目標(=4)を下回る施策が7施策、13.7%であった。これにより、3期進捗平均が4.0となり、昨年度よりも向上した。全施策の86.3%の施策が目標を超えたことは、施策が着実に実施され成果を挙げていると判断できる。

○「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づく「教育委員会の事務執行にかかる点検・評価」として教育ビジョンの評価を活用した。

○10月に、教育ビジョン第3期実施計画のNEXT&NEWの20施策を中心にした『平成29年度施策の点検と評価(ダイジェスト版)』を作成し、市内各校の全教職員や関係機関等に配布した。このことにより、特に、教職員の新潟市教育ビジョン施策への関心を高めることができた。

●30年度の下半期の取組に向けて

○教育ビジョン第3期実施計画の平成29年度施策最終評価の結果や、それに対する教育ビジョン推進委員会での意見や助言を生かし、下半期での適正な進行管理を進める。

●推進委員からの意見・要望等